



熊本県 宇城市

三角再開発計画

[私案]

Casino Hotel



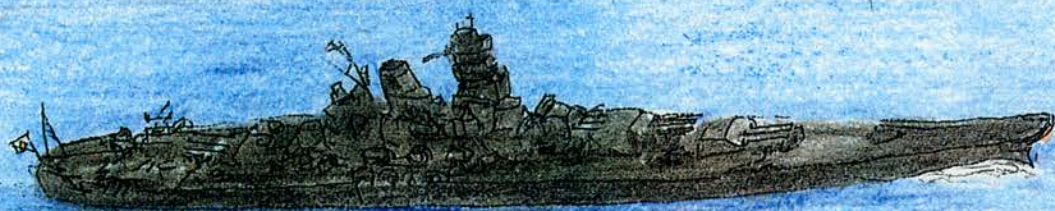
IL COLOSSEO



Station



Bridge



Yamato



Pyramid



West Bay Side

2006年10月27日
宇城市役所
企画課
制作資料



◆ピラミッドの西側



◆ピラミッドの東側(ラ・ガール)



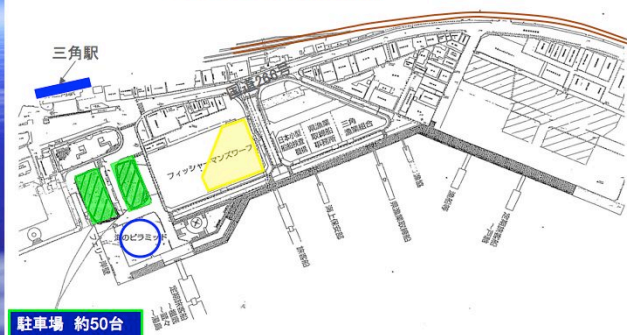
◆ピラミッドの北側(三角駅)



◆ピラミッドの南側(戸馳島)



◆ピラミッドの周辺図



◆フェリー運行実績

H.11年度～ 運航実績一覧表

		車両一台 旅客一名									
		大船バス	小船バス	普通乗用車	大船トラック	小車トラック	二輪車	自転車	新客(乗用)	旅客(一般)	計
H.11	230	101	12146	241	1159	325	48	21943	15901	8740	
	140	142	11466	476	499	397	81	42671	13201	55672	
H.12	229	186	12516	469	1223	577	129	45446	16182	56928	
	231	141	12112	516	664	308	57	21517	14029	45546	
H.13	460	322	25026	565	1187	332	192	66042	26511	36673	
	171	190	12748	239	963	401	73	32814	14885	47799	
	124	174	11736	274	577	437	89	29027	13343	42370	
H.14	295	384	24486	513	1490	938	142	61121	23228	84349	
	150	143	12446	347	860	462	48	33396	14763	48159	
H.15	151	213	11505	529	368	411	32	29764	13209	42973	
	145	195	12717	516	1226	335	80	61140	27322	31322	
H.16	158	231	12455	624	857	386	54	32659	14763	47422	
	144	180	11484	877	989	393	41	28353	14006	42459	
H.17	321	498	24132	1145	1129	733	138	63222	28059	91281	
	157	165	11208	715	354	381	36	27491	13218	40709	
H.18	381	364	28722	1032	1346	728	27	58844	27124	85968	
	117	164	11182	1233	847	435	83	25366	14866	38657	
	82	143	10904	964	280	379	48	23391	13114	36405	
H.19	209	307	21988	9193	1237	905	129	48797	27780	76577	

上段 三角～島原
下段 島原～三角

◆ピラミッドの平面図

38m

7.2m

3.6m

厨房

収納

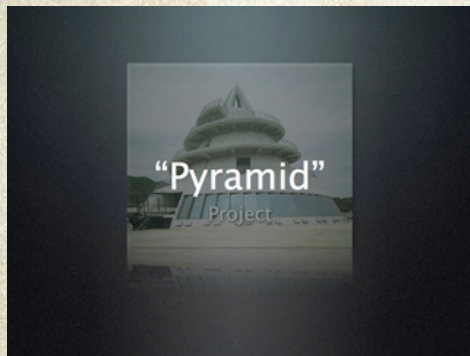
事務室

便所

フェッター事務所

[illegible]

2006年10月31日 宇城市役所 市長室にてプレゼンした資料



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10

CASINO

- 無人島・ピラミッドからわずか数百メートルの採石場跡に
カジノ・ホテル建設
- 経済特区（カジノ他、オランダに倣った法体系）

11

CASINO

- パチンコの1店舗当たりの売上推計
客単価 1万円×来店1,000人の場合＝日商1,000万円×30日＝3億円×12ヶ月＝36億円
客単価 3万円×来店1,000人の場合＝日商3,000万円×30日＝9億円×12ヶ月＝108億円
- 全国1万6千店で30万円パチンコ店1店舗当たり年間20億円の売上
- カジノ還元率30%、アメリカでのカジノの市場規模は1兆円程度

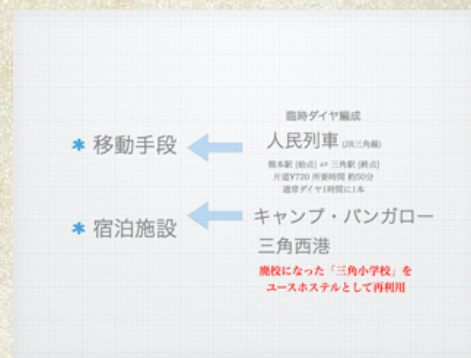
12



13



14



15



16

人材

- “一”の“所”に“懸”ける“命”を
- 石に齧り付いてでも成功させようという
意志
- この地に骨を埋めようという意気込み
- 不退転の決意・背水の陣

17

百年の計

- 熊本県内、九州圏内、日本全国、
さらにはアジアから集客
- 域内オンリーワンのリゾート
- ハード依存からソフト・人へ

18

オンリーワンのリゾート

- パリ
- イベザ
- ジャマイカ

19

ハード依存の失敗例

- ハウステンボス
- シーガイア

20

- 地域の経済的自立
- 地元住民の精神的独立

21



目次

1. 三角に「あたらしい歴史のはじまり」を。
はじめに
2. ROUTE66に触れてみる。
ルート66はどのような雰囲気なのか、写真を添えて説明しています。
3. あたらしい三角の展望。
三角のカリフォルニアを感じる地形と場所を説明しています。
4. 温故「創」新。
三角の名所・各施設・交通機関の再生イメージ写真がご覧いただけます。
5. 三角にあたらしい「風」を。
三角にある既存の施設等の活用に関するご提案です。
6. 考え方に合う3つのキーワードを仮定
キーワードを設定し、それに沿ったコンセプトのご提案です。
7. スウィーツチャペルイメージデザイン
ピラミッドを花や照明で飾った写真がご覧いただけます。
8. 三角のシンボルを彩る。
ピラミッドが様々な色に変化した姿がご覧いただけます。
9. 三角 海のピラミッド
装飾されたピラミッドと使用する照明機器の紹介とご提案です。
10. 三角公園
公園の平面図とイメージ写真を紹介しています。
11. 三角公園
いろいろな場所で使用されているきらびやかなイルミネーションを紹介しています。
12. 三角公園
いろいろな場所で使用されているきらびやかなイルミネーションを紹介しています。
13. 三角公園
いろいろな場所で使用されているきらびやかなイルミネーションを紹介しています。
14. 三角を存分に楽しむ、使う。
三角を楽しめる、使える場所にするためのご提案です。
15. 三角を最大限に活用し、人を育てる。
アミューズメントにカート場を作り、青少年の育成と街の発展に貢献するご提案です。
16. 日本初のカート場を三角から。
魅力あるカート場の施設のご提案です。
17. 三角から環境型施設の発信を。
カート場を含む全ての施設を環境に優しい施設にするためのご提案です。
18. 三角を総括する。
全体のご提案を総括しています。
19. アミューズメントイメージ
ご提案しているプロジェクトの完成予想イメージバースがご覧いただけます。
20. アミューズメント施設平面図
アミューズメント施設の全体像を平面図でわかりやすく説明しています。

三角に「あたらしい歴史のはじまり」を。

はじめに

世界一と云われる夕日を望むロケーション 有名なたぐさんの海産物や果実 そして
人々の営みを支える食の出発点でもある 三角駅と フェニックスにかこまれた266号線が一体となって
カリフォルニアの風を感じる
「新しい朝日が昇る三角」となるようお願いを込めて

私たちは
このすべてが集約された三角の街を 自然と人と対話しながら
環境を守り 地の利を最大限に活用し 活気に満ち溢れた街になるよう
シティ プランニング (都市計画) と リノベーション (革新・刷新・修繕・修理・元気回復) を構築し
「カリフォルニアの風を感じるリゾート地」を目指して このプランをご提案いたします



EVENT PRODUCE & STAGE PLANNING / LED DIVISION / ILLUMINATION DIVISION
TOKYO - FUKUOKA

有限会社 ウエストワーク 代表取締役 才木 弘司

1

ROUTE66に触れてみる。

三角には、壮大な自然と地形全てにカリフォルニアの風を感じる要素が集中しています。
そこで最初にアメリカの「ルート66」を感じてみます。
地図を見てみますと、266号線と三角線のルートの流れがシンクロします。
シカゴが熊本、ロサンゼルスが三角といったところでしょうか。

太陽の光、澄んだ青空、自然が満ち溢れた大地と人が一体となった魅力を発散しています。



このようにカリフォルニアへ繋がるルート66は、全てがその土地に根付いた良い雰囲気構成されています。

2

あたらしい三角の展望。

三角のあたらしい歴史を歩む全体的な第一歩は、すべてに恵まれた環境と立地条件から、街全体とそこに住む方々のご理解と協力を得て一丸となって作り上げる地域密着型の「カリフォルニアの風を感じるリゾート地」をコンセプトにご提案していきます。

三角の街から見える、二つとない壮大な景観を有している

三角の中心に交通機関が集中している

あたらしい三角の展開に際して利用価値の高い広大な土地が三角の中心に確保できる

まず、三角に入る前から「カリフォルニアの風」を感じていただけるシチュエーションを作り上げ、イメージを盛り上げます。



三角線

熊本から約50分、ちょうど大隈を横断するよう形で三角と結ばれる三角線は、アメリカ大陸横断特急「アムトラック」のイメージとぴったりです。幸い、アムトラックと同じで車体がステンレスなのでラインの引き直してイメージが出来るでしょう。三角に着くまで、車内のモニターなどでイメージ映像などを流しながら気分を盛り上げます。



三角駅

小さいながらもかわいらしいこの駅は正面の展望台を取って明るいイメージに変えます。外壁を白のペンキで、南国風に塗り替えるだけでイメージを一新できると思います。駅に降りた瞬間からリゾート気分を演出します。

バスターミナル

三角線同様、バスも大陸横断バスのイメージで展開します。熊本駅からルート266を通る専用シャトルバスとして直結させ、集客効果を狙います。



ピラミッド

まず駅を降りて目につく、ある意味三角のシンボルとなる建物でしょう。この建物を美しくライトアップして、名所とします。スロープを昇った所に双眼鏡などを設置すれば三角から望む景観をよりリアルに感じる事ができるでしょう。



266号線

266号線は沿線にフェニックスが点在し、まるでアメリカの「ROUTE66」のイメージを醸し出しています。2つ目のルート66→「ROUTE266」として認知されるでしょう。三角の有名なミカン畑もたくさんありますので通称「オレンジロード」と呼んでもいいかもしれません。左のような看板を道路沿いにたくさん立てて、映画のワンシーンのような雰囲気を出します。



戸馳大橋

戸馳島に渡るこの橋はゴールデンゲートブリッジのよう。266号線から三角へ向かう途中から見えるこの橋で三角に着いた事を知らせてくれる「入口」のようなものとして捉えることが出来るでしょう。



若宮海水浴場(三角町戸馳島)

綺麗に整備された、絶景の夕日の中で感じる気分はまるでカリフォルニア。

このようなコンセプトで三角を見てみると、現状の状態でも演出の方向性を意味付けるだけで街全体に「魅力的な素材」が集中しています。

3

温故「創」新。

三角のあたらしい歴史を歩むために、今あるものを見つめ直し、そしてそれらをより魅力のあるものに磨き直す事からはじめます。これは、三角の根付いたものを大切に、さらにはそれらを蘇らせて地域住民にも違和感なく接してもらえるよう配慮します。観光に来た方々も、取って付けたような違和感もなく、自然に接してもらえる事でしょう。

新しいエッセンスをふりかけ、観光地の色合いを加味して魅力のある街づくりを目指します。



■ピラミッドを飾り、デートスポットとしても利用します。



■駅側から。アメリカンな看板を立てるだけでカリフォルニアの雰囲気になります。



■ピラミッド側から。展望台を取り、駅舎を塗り直すだけでリゾート風になります。展望台は移設出来れば再利用します。



■棧橋を光で包み、ナイトクルーズや様々なイベントに利用します。



■アムトラック風に塗装し、車内でBGMを流すなどします。シャトルバスとして運行します。



■アムトラック風にして、カリフォルニアまでの横断特急の雰囲気を感じさせます。鉄道マニアにはたまらない存在となるでしょう。

そして、映画やドラマのロケ地としても使用され、全国へその魅力を発信します。

4

三角にあたらしい「風」を。

三角のすばらしい景観と街並を整え、観光客を迎える準備とともに現代人のニーズにあった、集客効果を上げるための施設を広大なスペースに構築します。
「三角はすばらしい」+「三角へ行けば楽しめる」の相乗効果をねらい、リピーターを作ります。

いつも賑わう、あたらしい、楽しい、健全な街にします。

観光・レジャー・デートスポットとして、今ある建物と広大な土地を利用して集客効果を生む施設のご提案です。



■ピラミッドでパーティーやイベントを開催します。



■ラ・ガールをさらに魅力あるものに更新します。



■埋立地の有効利用

ピラミッドの活用

- 内部空間を使い、「光のショー」をします。
一日数回、光によるパフォーマンスショーを開催します。
季節によって演出を変えます。
- 階段壁面など、一部を常設個展が出来るように整備し、個人から団体まで気軽に利用出来るようにします。
来場者は来るたびに違う雰囲気を楽しむ事ができます。
- 空間を利用して、演奏会やライブ会場として利用します。
ジャズコンサートなどを開いて、夕日を見ながら
食事を楽しむのもいいかもしれません。
- 建物の形が良いので、車やマリノ関連の新商品発表展示会場
として利用出来るようにします。
- 誕生会、お祝い披露パーティーなどに利用出来るようにします。

公園のイルミネーション

- 現状の公園を整備します。
- 公園全体を華やかにライトアップし、
安心して夜も利用出来る明るい雰囲気になります。
- 季節に応じてイルミネーションの演出を変え、
年間を通じて行きたくなる、デートスポットの名所とします。
- 移動屋台（アメリカのトラックでホットドッグなどを販売）を
置いて、それも絵になるようにイルミネーションで飾ります。

施設でのレジャー・保養・研修会

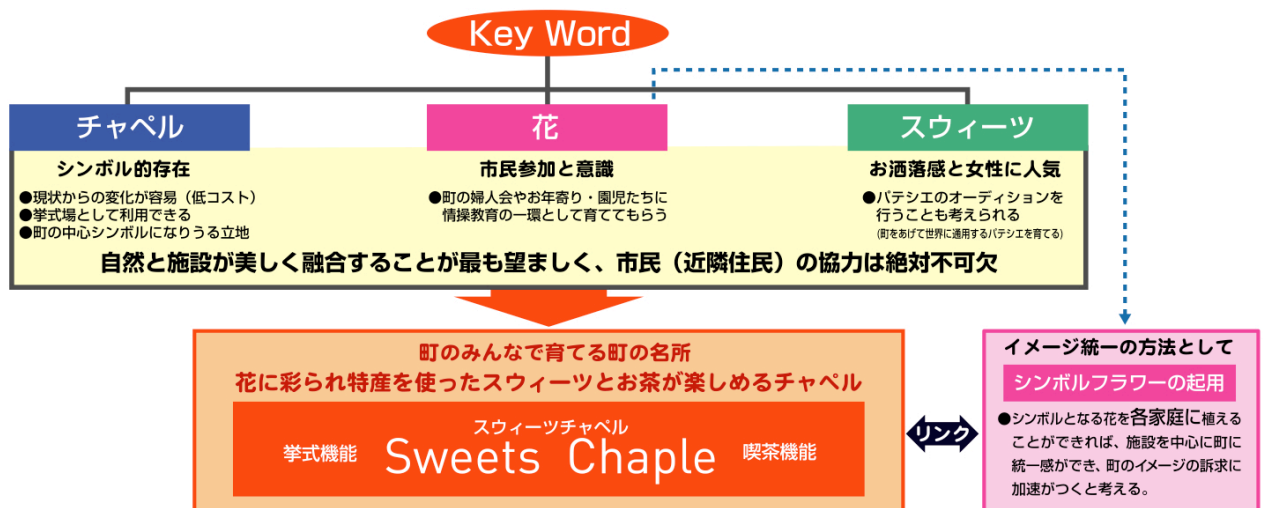
- 広い土地を利用して、青少年育成を目的としたカート場を作ります。
ただ遊戯施設を作るのではなく、すばらしい環境で青少年を
育成し、将来のレーサーを輩出する場を提供します。
これは地の利を最大限に利用してこそ可能となります。
この広さの土地があれば、世界選手権が開けるコースが出来ます。
フェリー級の船舶が接岸出来る事で、遠征も容易となります。
もちろん普段は一般客も利用出来、ボーリング感覚で楽しく
使っていただくことも出来ます。
- 常に集客を確保するために、ゲームセンターを併設します。
これにより、相乗効果で楽しんでいただけます。
- カリフォルニアを意識するならば、車文化を外せません。
昨今は車での行楽が主体です。
そこで、ドライブや車自慢が出来るダイナーを作ります。
- 建物の一部に会議室を作ります。そして平日に会社の会議や
集会・研修会などにご利用いただき、さらにラ・ガールや宿
泊施設を利用していただきます。社員旅行にも利用出来るよ
うにシンプルながらも魅力ある設備を整えます。

三角の街の人々の協力を得てこそ実現できる、魅力ある、未来を見据えた展開を考えます。

5

第1案

考え方に合う3つのキーワードを仮定。



プランニングを行う上でのプリーサボジション(前提)

- 1.現状の建物の長所を最大限に生ず⇒コストをかけ過ぎない。
- 2.決してその美しい景観をおかさない。
- 3.時代の流れに（流行）左右されない⇒普遍的でありたい。
- 4.新しい「町の文化」を作りたい。（らしさを大切に）⇒市民の誇り

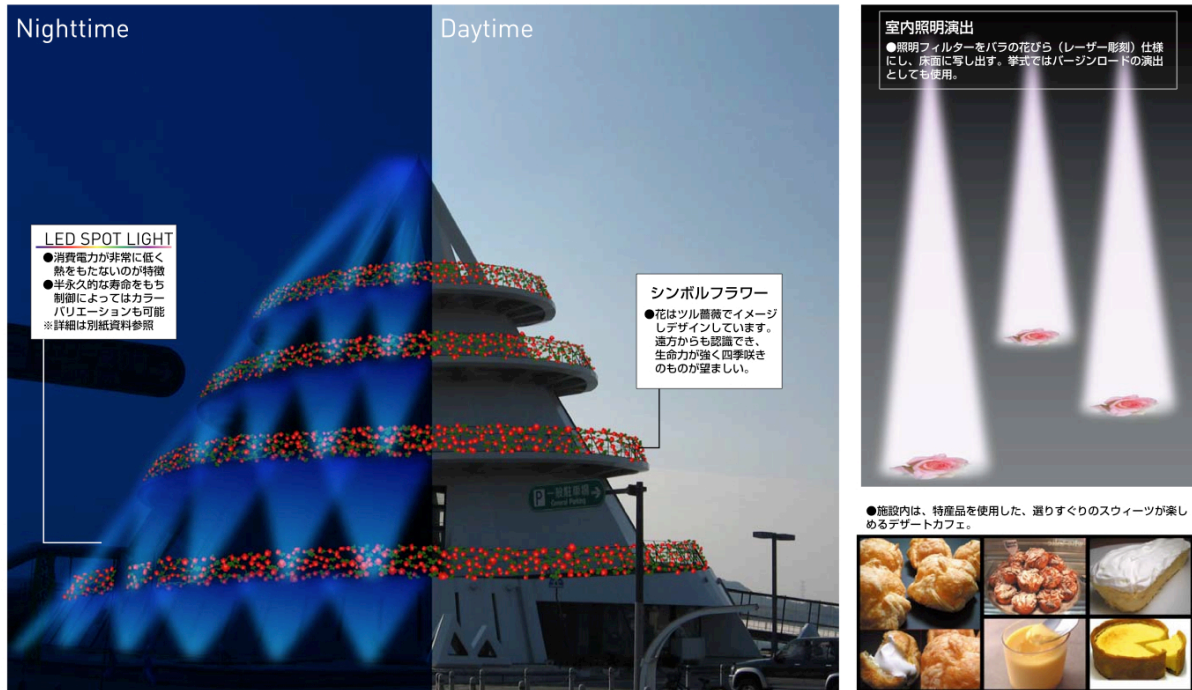
- 癒しを感じる。
- 美しい=景観に合い、誰が見ても美しいと感じるもの。
- 市民が日頃から利用できる。
- 市民に参加してもらう。
- 特産を極力利用。
- 朽ちないもの（人工物は朽ちる）
- このシンボルを中心に市民へ波及しやすい仕掛け作りができる（町の統一のイメージ）
- 女性に人気があるもの。
- マスコミが扱いやすい。

少しずつ観光客も立ち寄り、静かなブームを巻き起こし、長い落ち着いた名所となることを目指す。
まずは、市民から・・・

6

第1案

スウィーツチャペル イメージデザイン



7

第2案 三角のシンボルを彩る。

三角に着いてまず目にとまる建物、ピラミッド。

この、三角のシンボルといえる建物をより美しく飾って、観光客の皆様印象に残せるものにします。

時間とともに全体の色が変化していき、いつまでも飽きさせない演出をします。



8

第3案 三角港 海のピラミッド



固定色LEDランプ（白・青）

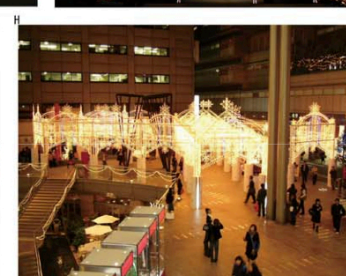
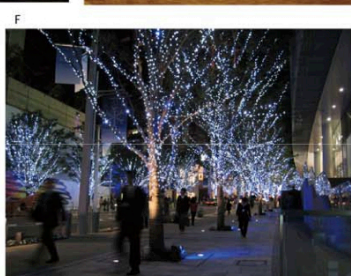
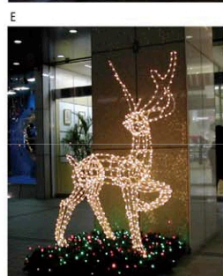
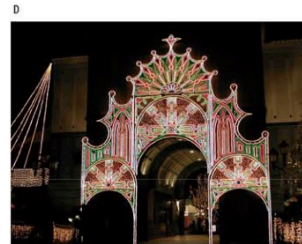
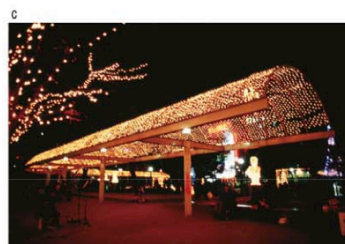
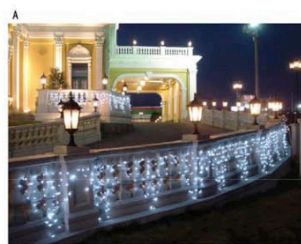
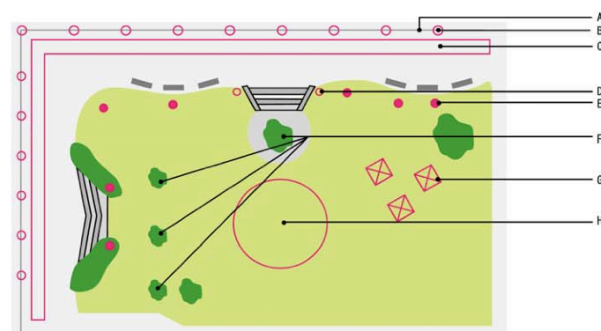


フルカラーLEDランプ



9

三角公園



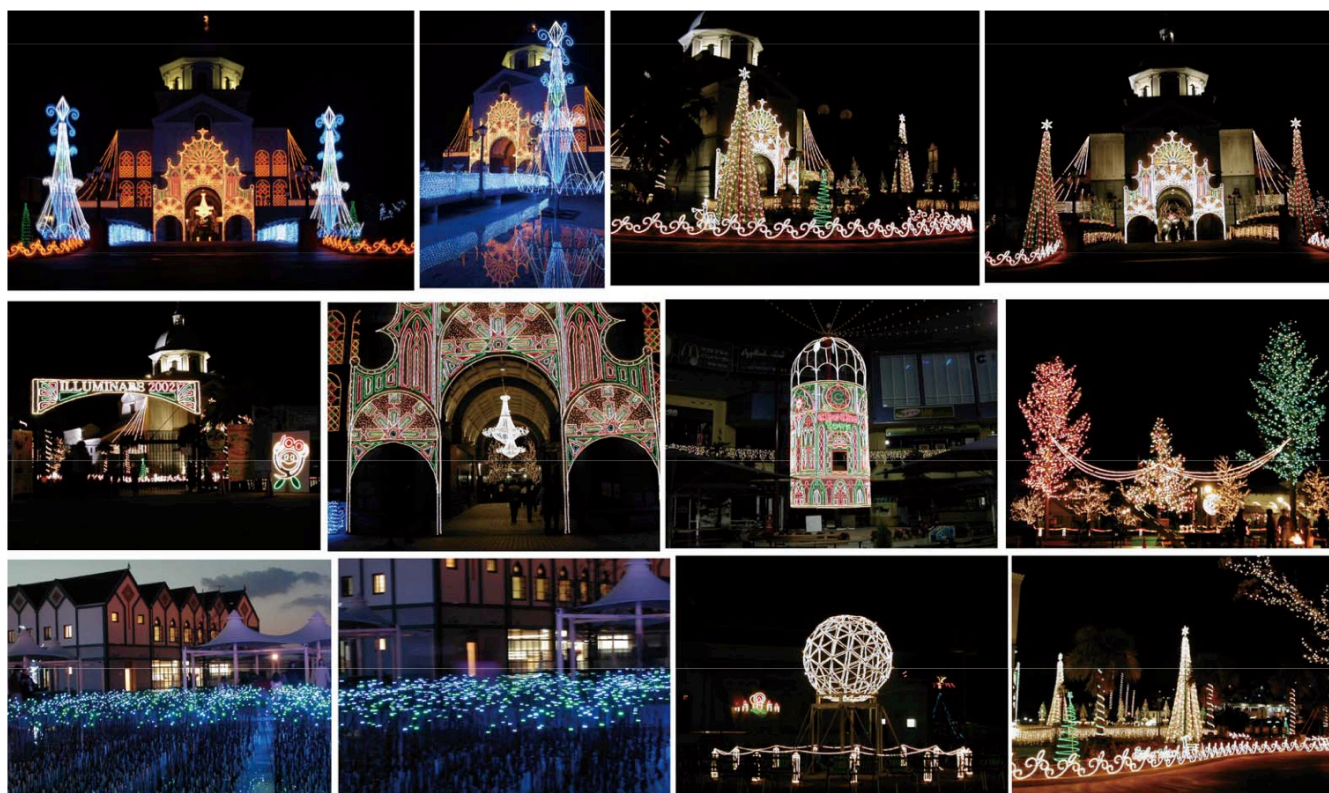
10

三角公園



11

三角公園



12

三角公園



13

三角を存分に楽しむ、使う。

普通の観光地とは一線を画した近隣にはない施設をすることで、一般の観光客だけではなく、新たな客層の発掘が出来る施設を目指します。

三角だからできる「観光」＋「アミューズメント」の融合。

三角の美しい自然と融合した、新しいコンセプトのアミューズメント複合施設で集客を考えたご提案です。



このように、全てがお互いに連係して、楽しく飽きない複合施設の構築を目指します。

14

三角を最大限に活用し、人を育てる。

楽しく入りやすいカートの世界を青少年にも体験してもらい、学び、心身ともに成長を目的とした「学習・教育型アミューズメント」を形成します。

学習・教育型アミューズメントで健全な青少年の育成と街の発展に貢献します。

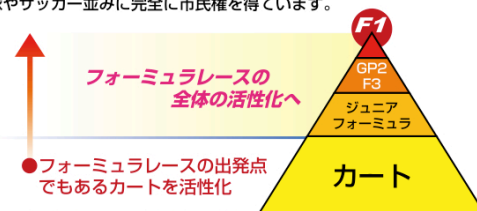
カートを通じて、青少年に社会のルールや強い精神力を養う場を構築し、三角から世界へ向けて「未来の人財」を輩出します。

日本のカート事情

カートの本場ヨーロッパでは、カート→フォーミュラカーレースといった方向性が整備され、モータースポーツは野球やサッカー並みに完全に市民権を得ています。また、独自のクルマ文化が発達し、モータースポーツの発展は交通マナーの向上などにもつながっています。

我が国日本では、F1にはトヨタ・ホンダが参戦し、日本人ドライバーも活躍。モータースポーツ業界では、かつてのF1ブーム以上に、日本が活躍しています。そして国内においてその気運が高まり、日本人による未来の有能な選手の発掘・育成・輩出を目的に、**F1チームが率先してカート事業に参画し、青少年を教育・指導しています。**（別紙参照）

このように、自動車大国でもある我が国から、日本のモータリゼーションの発展と車社会においての交通マナーの教育・向上に貢献できる、**ただ遊ぶだけではない「学習・教育型アミューズメント」の構築が必要だと考えます。**



三角から発信する「新型アミューズメントカート場」の構築

現在は、レンタルカートによる手軽な**初心者向けのカート**と、**本格的な走行・レース参戦を目的としたカート**の2つに分類できます。

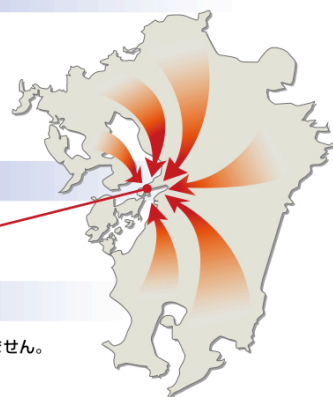
この、別なものとして考えられてきた目的が異なる2つのカートを1つに融合し、カート初心者が本格的なカートへ向けて気楽に移行しやすい環境を整え、**フォーミュラレースの出発点でもあるカートの世界の門扉を広げ、人財を発掘し輩出することにより、この世界全体を活性化できるシステムを構築します。**

三角がカートの「九州の中心」として起動する

この「新型アミューズメントカート場」の構築により三角をカートの聖地とし、**九州でのカート界を牽引していく原動力となって、しいては全国、世界へ向けて発信できる環境を整えます。**

三角からカートを通じて「交通安全」を考える

近年は、郊外に複合施設や遊戯施設が続きと誕生し、そこまでの移動は自動車を主体として考えられています。この三角も例外ではありません。そこで、来ていただいたお客様や青少年にカートというアミューズメント施設を通して、**交通安全を今一度考え直していただく場として交通安全教室などを開き、活用していただきます。**



このように、ただの観光地の複合施設としてだけではなく「意味のある、考える場所」とします。 15

日本初のカート場を三角から。

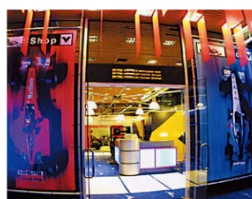
海外ではすでに定着しているカート場。そこには我々が理想としている施設がたくさんあります。

エンターテインメント性のある、本格的な施設を作ります。

集客を考えた、万人を引き付ける魅力があり、その世界へ没れる施設を構築します。

魅せるエクステリア、酔わせるインテリア、興奮する演出。

カート場に着いた瞬間から、視覚的に高揚する外観。中に入ればアドレナリンを分泌する音楽と光に包まれたエントランスとその先に見えるコース。速まる心を抑えカートに滑り込む。他のカートには初めて走るドライバー達。俺は彼等より速いのか？ 彼等も同じ思いでステアリングを握る。スタート！ もう気分はF1レーサー！そして走り終え、ヘルメットを脱いだ瞬間からみんな友達、そしてライバル！・・・そんな感じであっという間に緊張感と楽しさをうまく融合した、ショータイム的な空間を目指しながら、本格的なコースとしても機能するコースを作ります。



■入口からお客への演出は始まっています。期待感に胸躍る演出をします。



■エントリをするインフォメーションも特別な雰囲気にして盛り上げます。



■ラウンジ&カフェは、高揚する気持ちを抑えるリラックス出来る空間とします。

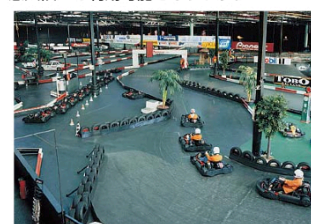
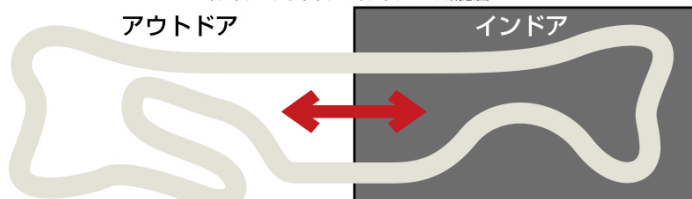


■イメージ優先でハイセンスな外観とし、スポーツ色を感じさせないカジュアルな雰囲気の外観とします。

アウトドア⇔インドアを行き交う、類を見ないコース設定

三角の広大な土地を利用して、今までに類をみない、インドアからアウトドアへ、そしてインドアへという、斬新なコース設計を提案します。これは、ひとつのコースで様々なコンディションを味わえ、テクニックを磨ける、究極のハイレベルコースとします。若干のコース変更により、悪天候でも利用可能となります。

インドア⇔アウトドア⇔インドアコース概念図



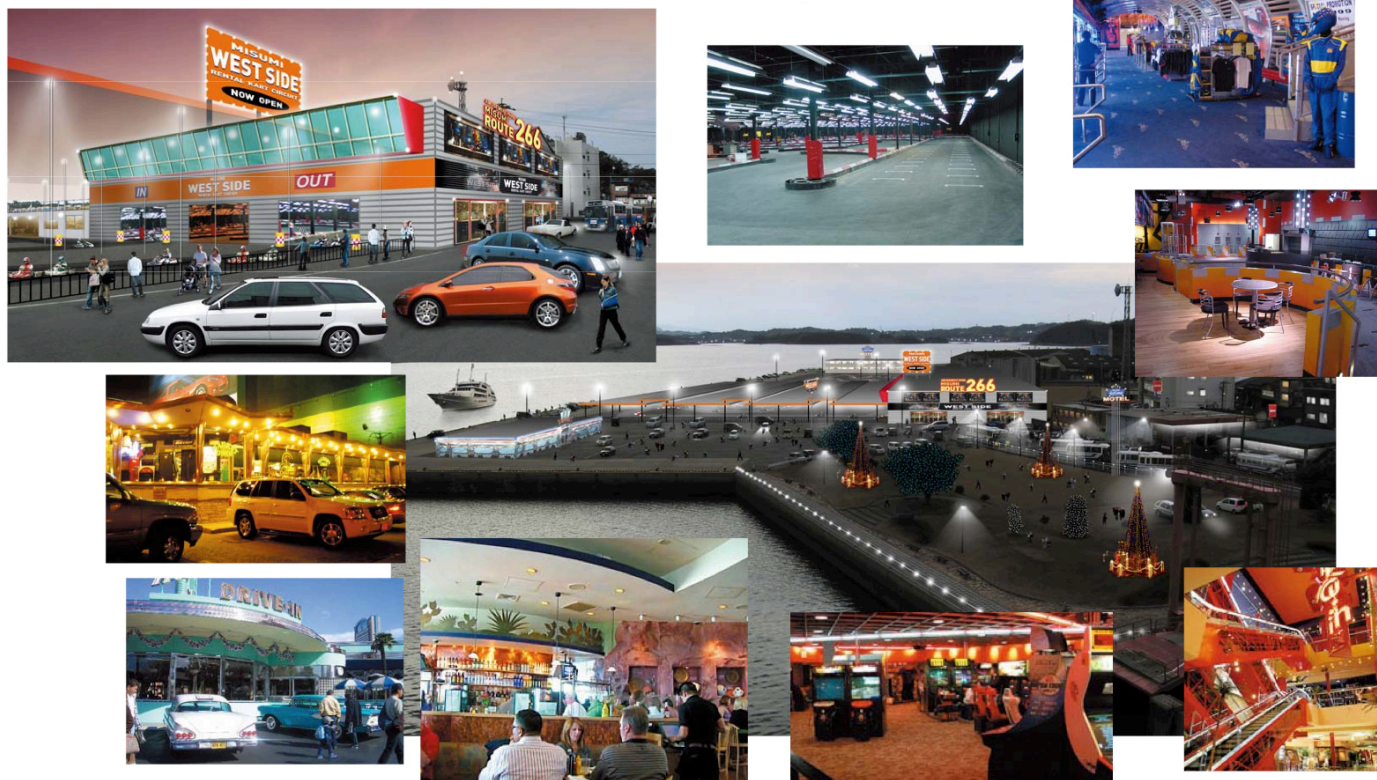
ここに来れば何かがある。ここに来れば求めていたものがある。そんな施設を目指します。

16

アミューズメントイメージ

綺麗な夕焼けを望む三角港を背景にたくさんの人々が観光に訪れています。そこには人々を満足させる自然と食と楽しみが溢れています。そして、三角の人々が暖かく迎えてくれます。

いつも賑やかで活気のある三角をめざして。



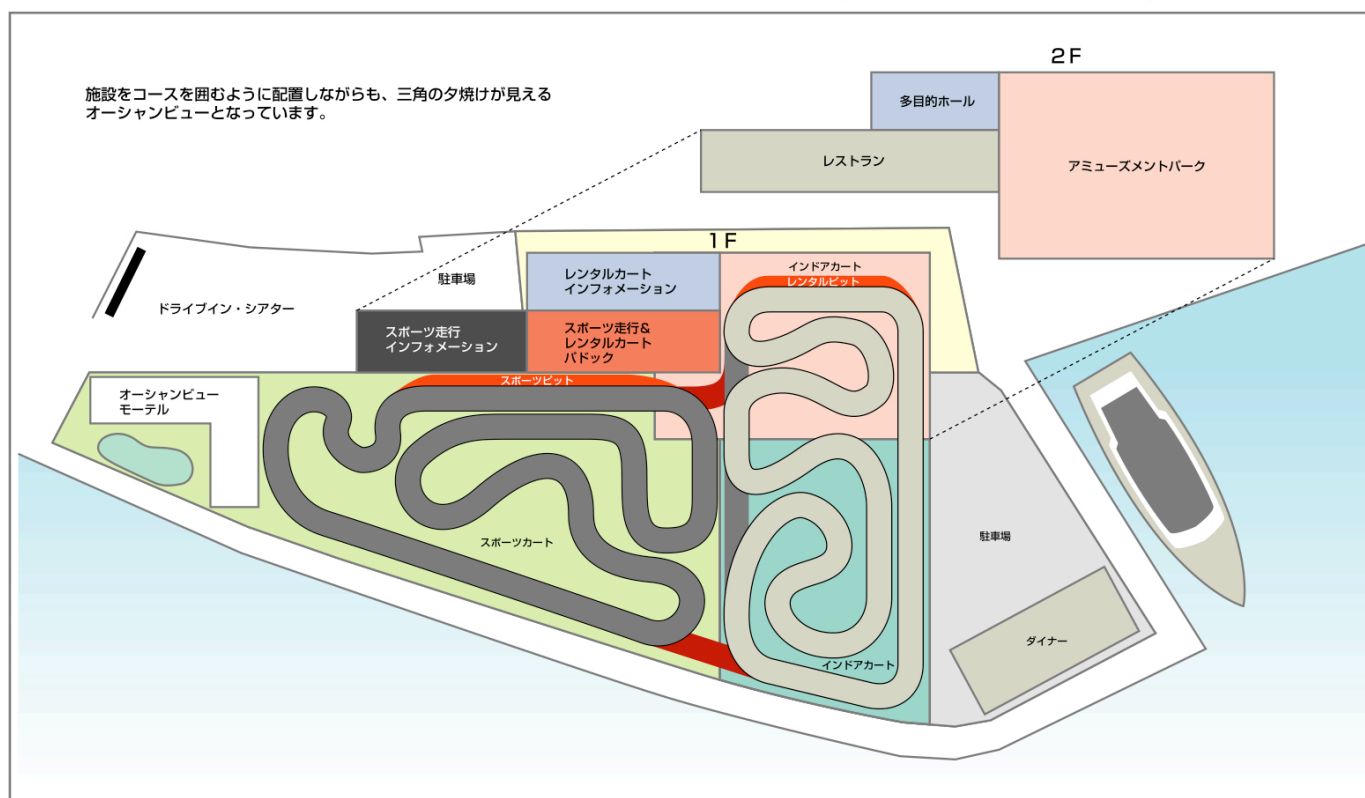
三角のあたらしい歴史のはじまりを「三角から」。

17

アミューズメント施設平面図

海に面した埋立地にカート場・アミューズメントパーク・ダイナー・オーシャンビューのモートルなどを効率よく導線を考え配置した施設を作ります。

全ての場所から景色とアミューズメントが見える、楽しめる空間。



18

三角から環境型施設の発信を。

カート場やその他の施設を、地球にやさしい建物とし、環境保全を考えます。

三角全体の施設を三角にやさしい建物とします。

観光に来たお客様にも自然や環境に対して考えてもらえるような環境型観光地のモデルとして発信します。

未来の三角を考えた「環境型アミューズメント施設」を。

カート場やその他の施設を環境を考えたものにし、三角の自然を保全するとともに来ていただいたお客様にもその意識を考えてもらい、環境についても学べる施設とします。将来を担う子供たちにも考えさせ、遊びながら教材として楽しく学べる施設とします。

1. 施設の広い屋根などをヒートアイランド防止に貢献する屋上緑地化を取り入れます。
2. 一部には太陽電池を設置し、各施設で使用される電気を補います。



3. ゴミをきちんと分別し、リサイクルの意識を高めます。



■施設内の街灯や時計などは自家発電型とし、配線や電気代のコストを考えた仕様になります。



■施設からは出来るだけゴミ出さないよう徹底します。
■生ゴミなどは分解し、屋上緑地の肥料などにします。

三角の守るべき景色を見ながら環境を考える、絶好の教材となります。

19

三角を総括する。

このように三角には魅力ある自然と交通機関・土地など、利用価値の高いものが一局集中していることから考えますと、大型総合リゾート施設として充分に将来性がある場所であると考えます。

三角の、将来性のある歴史のはじまり。

1. 新型観光地としての役割

三角の方々の理解と協力を得、地域密着型を目指して作り上げる。

各施設の雇用を優先的に三角在住の方々とし、若者の三角へのリターンも視野に入れて、三角全体の活性化と潤いをもたらすものとする。

各施設はただの観光・遊戯施設としてだけでなく、学習や環境教育としての機能を持たせ、地域への貢献と発展に寄与できるものとする。

環境保全はもちろんの事、リサイクルを整備し、街の美化に努め、三角からは「ゴミは作らない、出さない」を徹底する。

3. 集客を考えた展開

カート場を核としたアミューズメント施設を建設する事で九州や全国からの集客が見込まれる。

三角をホームページなどを使って全国へ紹介する。

「食のステーション」と位置付け、観光中の食事の場所にしてもう環境を作る。

街全体をひとつのコンセプトで作り上げ、集客するだけではなく、映画のロケ地に使っていただき全国へ発信し、名所とする。

イベントを計画し、年間を通して集客できるようにする。

特産品をアピールし、三角でしか買えないものを考案する。

全ての施設が連携し、お客様が一つにとどまらずに全体を利用していただけるよう、導線を考える。

2. 利用・認知していただきやすい環境

立地条件が広大なアメリカのルート66とうまくシンクロし、イメージしやすいものがすでに存在している。

今あるものは更新・再生するだけで魅力あるものに変身する。

中心に広大な土地があるので、新しい施設が容易に建てられる。

三角の中心に全てが集約されているので、各施設とのアクセスが大変容易である。

交通機関が中心に集中しており、リゾート地としての集客などの展開が大変容易である。

私たちは

この三角という素晴らしい街と一つになって

良い部分は伸ばし

改善する部分は皆で納得の行くまで話し合い

新しい歴史のはじまりのお手伝いができるように

常に考え、実行していく努力をします。

20



カートによる青少年の育成と発展を目指して

「三角ウエストサイドサーキット(仮称)」でのジュニア育成プログラム

当サーキットでは、指をくわえて見ているだけのレースを夢見る子供たちに、優しくその世界へ入りやすいように基礎をしっかり学び、1人で安全に走行出来るまでの過程を習得出来るようプログラムされた、全く新しい独自の教育カリキュラムで教育します。

① サーキットの基礎勉強

ここではサーキットに必要な基礎知識の講習をします。各名称からフラッグの意味、安全に走行をするためのルールやマナーを学びます。



② シュミレーション講習

ここで初めてカートと接します。カートの乗り方・降り方に始まり、特性や機構・エンジンの掛け方までをしっかりと学びます。



③ 直線走行練習

ここでは、初めてのカートの特性をつかむため、短い直線を走ってカートの車幅やアクセル・ブレーキの感覚を身体で覚えてもらいます。



④ ソーイング

さあ、コースでの練習です。コース外へ飛び出さないように講師のカートとジュニアのカートをロープで結び、コースへ出てゆっくりと走ってコースに慣れます。



⑤ 1人で走る

1~4の復習をしっかりと、講師の許可を得た人から1人での走行練習が始まります。ゆっくりと慣れるまで安全走行を身につけていきます。



ライセンスの取得

基本ルールや走行マナーをしっかりと習得した人からライセンス取得試験を受け、合格したら初めてコースを自由に走れるライセンスを交付します。



ジュニア育成プログラム終了後のステップアップ

ライセンス取得後、当サーキットで年間6回行われる「WEST SIDE Junior Cup」に出場し、テクニックを磨きます。そして、年間最高ポイントを獲得(上位3位)したジュニアはカートやエンジン・タイヤ・ウェアなどのサポート権を得、全国大会へと挑みます。



NATIONAL



ATHLETIC



MEET

×6

support

全国競技大会へ

私たちは、三角の素晴らしい環境の中で、
青少年の心と身体の育成と、カートからレース界へはばたく人材発掘と発展に向けて、努力をします。

その中で、TV・ラジオや印刷物等を通じて宣伝をしていきますが、
さらに水面下のユーザーまで広げた展開を考えております。

そこで絶大なる知名度の高い鈴木亜久里率いるジュニアカート育成「ARTA」の名前を借りて宣伝広告等に使用し、
来場者にハイレベルで将来性があるという認識を与え、
さらなるレースファンやこれから始めようとお考えの方々に力強い後押しとなる事と確信しております。

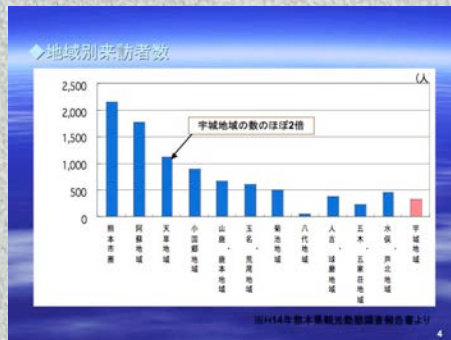
有限会社 ウエストワーク

代表取締役 才木 弘司





1



4

2. Main spot (メイン会場) 海のピラミッド周辺

- (理由)
三角港周辺へ古くから交通の要衝として利用されてきました。
海上交通については、三角一島間においてフェリーが行き交い「海の玄関口」としての機能を果たしてきたが、今年8月にはフェリー会社は撤退し、その航路は長い歴史に幕を閉じました。
三角一島間の航路はなくなりしたものの、人道橋や可動橋等(フェリー関連施設)の施設は残っている。さらに、三角駅が立地しており、三角一島間をJRが走っている。この2つの交通機関が集まるこの「海のピラミッド周辺」は何かの起爆剤により、強い集客力を発していると思います。

7

◆三角町の現状

- 位置は熊本県のほぼ中央部に突出した半島状の南端部にあり、最遠端は48.3km、南北4km、東西13kmと東西に長く、東部海岸は平野火通に、西側は有明海に面し、北部は宇土市に隣接し、南部は天草5橋により上天草市と結ばれている。市域内からは42kmの距離にあり、国道57号及び国道266号の2本の重要幹線道路は90%、またJR三角駅で15分程度で結ばれている。さらに九州自動車道の松橋インターチェンジまでは30kmの距離にある。
- 三角町の人口は9,800人、世帯数は3,569世帯(平成18年10月末現在)である。また、高齢者(65歳以上)の人口は3,172人で高齢化率は32%とほぼ3人に1人が高齢者という現状であり、さらに高齢化が今後加速すると考えられる。
- 海上交通としては、長崎県の島原市との間に「三角一島間フェリー」が就航していたが、直道の整備等の影響を受け平成18年8月末に撤退した。それに伴い、「海のピラミッド」に近接していた売店も撤退し、現在では利用されていない車なるシンボルとなっている。
- 三角町を観光地の視点から考えた場合、三角町のイメージは上天草市の通過点というように位置づけられていると予想される。それは、H14年度熊本県観光動向調査報告書からも分析できる。

2

三角港活性化策へ(序論)

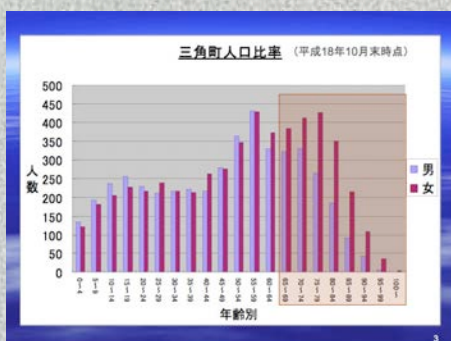
- 1、Target (ターゲット) 若者又は家族連れ
- 2、Main spot (メイン会場) 海のピラミッド周辺
- 3、Material (材料) 海のピラミッド・花の学校・西港・三角東港周辺等を活かす!
- 企画コンセプト
三角町の人口比率を分析すると、高齢化が進んでいる事が解る。今回の提案では三角町以外の若者に、この町の「良さ」を認知してもらうことが「はじめの一歩」と考えています。最終目標は、この町に若者(生産年齢層)が定住し、それが波及し全体の人口増加を図ることを目的としています。

5

3. Material (材料) 海のピラミッド・花の学校・西港・三角東港周辺等を活かす!

- 三角町には、「海のピラミッド」だけではなく、いくつも点在して観光スポットがある。私は、この点在している観光スポットを結びつけることにより、相乗効果を生むと思います。
毎年、三角西港には30万人を超える観光客が訪れています。しかし、H14熊本県観光動向調査報告書によると天草地域の観光客数は、宇城地域の観光客数の2倍である。このような数字を踏まえると、観光客は西港でドライブ休憩して一歩橋を渡って行っているのでは?と思います。
そこで、「海のピラミッド」を基点に、海岸付近に存在する「花の学校」や「西港」を海上ルートで結ぶことにより、1日で観光できるルートを提案します。

8



3

1. Target (ターゲット) 若者又は家族連れ

- (理由)
今回の企画は、空いている「海のピラミッド」を有効活用することをテーマとしています。
「海のピラミッド」は、頂上までの歩道の距離が増え長いなどの理由により、観光客が頂上まで登る者はほとんど見られなくなった。また、なかに入ると高齢者等にとって危険と思われる段差がある。建物の造りは、円形で頂上まで吹き抜け、開放感がありまるで劇場のような雰囲気があります。
最近の建物はバリアフリー化しているが、この建物は万人に優しい建物とは言えないと思います。私は、この「海のピラミッド」持つポテンシャルを最大限に活かすためには、若者のイベントホール等に利用すると、その潜在能力が発揮されるのではないかと考えます。
また、今後三角町は高齢化の加速が懸念される為、生産年齢層の人々が訪れ、最終的には定着するような活性化策を提案します。

6



9

◆具体的提案(結婚式)

- 海のピラミッドにて結婚式
- 海のピラミッド～西港(説明)

西港では、週末になると数多くのカップルがデートに訪れ、熊本県下でも有数のデートスポットと考えています。そのようなデートスポットと海のピラミッドを海上ルートでリンクすることで、「海上デート」が楽しめます。

それだけでは留まらず、「海のピラミッド」をチャペル(教会)又はハウスウェディングにすることによってデートから結婚までの一連のストーリーが完成する。

また、「海のピラミッド」で挙式又は人前式を行い、海のピラミッド～西港まで遊覧しながら海上披露宴を行うことができる。その後、西港(思い出のデートスポット)の浦島屋やオランダカフェなどで2次会が行える。

※ハウスウェディング
有数の海のピラミッドとは『熊本県の結婚式』のことで、海外の映画で見るような自宅で行なう結婚式をイメージしています。日本では実家の周囲に当たるような少ないので、日本では結婚式用に建物や料金を貸し出して、ハウスウェディングが行われます。

10

◆岸壁エリア




13

◆実現までの道のり

- Episode3 ～海のピラミッドと西港の結婚式～
- (企画)
- 海のピラミッドにて結婚式
- 岸壁近くの倉庫内でのインドアカート
- (実現に向けて)
- 最近話題のハウスウェディングを民間業者の協力のもと、ピラミッド内で結婚式を開催。その後、海上ルートにより西港へ遊び披露宴を行う。また、アミューズメント施設として岸壁近くの倉庫内でインドアカートを民間業者の協力のもと運営。

16

◆具体的提案(一家の休日)

- 海のピラミッドにて音楽イベント
 - 音楽イベントを定期的に行う
- ラグールにてBBQ(バーベキュー)
 - 昼食は新鮮な海産物を食べながら飲みながら!
- 岸壁沿いの空倉庫群にてインドアカート
 - ↓
- 海のピラミッド～花の学校

※インドアカート
ボーリング場や工場などの跡地に作られたものが多く、狭い敷地を有効に使うため、タイトでツイステイタコースが多いです。一般的に非常に滑りやすく、路面がアスファルトでない場合もあります。

11

◆実現までの道のり

- Episode1 ～実現の可能性が高い企画から始める～
- (企画)
- ラグールにてBBQ(バーベキュー)
- 海のピラミッドにて音楽イベント
- 海のピラミッドにイルミネーション(LED使用)を彩る
- (実現に向けて)
- バーベキュー については三角振興会の協力のもと行う。
- 音楽イベントについては、民間のイベント会社の主催で開催し駐車場にはラグールとタイアップし開催する。また、夜の観光客を集めるため市や県や住民等の協力のもと海のピラミッドにイルミネーションを彩る。
- また、一般情報誌やHPを利用し宣伝を行い三角のPRを行う。

14

◆三角ピラミッド周辺提案図



17

◆具体的提案(一家の休日)

- 海のピラミッドにて音楽イベント
 - 音楽イベントを定期的に行う
- ラグールにてBBQ(バーベキュー)
 - 昼食は新鮮な海産物を食べながら飲みながら!
- 岸壁沿いの空倉庫群にてインドアカート
 - ↓
- 海のピラミッド～花の学校

※インドアカート
ボーリング場や工場などの跡地に作られたものが多く、狭い敷地を有効に使うため、タイトでツイステイタコースが多いです。一般的に非常に滑りやすく、路面がアスファルトでない場合もあります。

12

◆実現までの道のり

- Episode2 ～点在する観光スポットを一筆書きにする～
- (企画)
- 西港(オランダカフェ付近)～海のピラミッド～花の学校の海上観光ルートをつくり相乗効果を巻き起こす。
- 週末の夕方には、西港の中通りに屋台を集め、海を見ながら飲食できる空間を造る。(イメージ:福岡那珂川沿い)
- (実現に向けて)
- 海上ルートをつくる船は民間の船会社の協力のもと行い、屋台についても移動販売等を行う会社に協力のうえ運営。

15

◆今後の展開

- この企画は、すべてが営利目的であり行政で運営するものではなく、民間で運営することを想定して企画しています。さらに、参入した企業はすべて連携をとり運営していくことがすべての事業の相乗効果を生み出すと考えます。次に、どのような手法により、この企画を進めるべきかという問題があります。
- 1つの手法は、この企画書から単体の事業について市が募集し、その集まった業者で共同体をつくり、その中で進めていくことはできないかと考えます。
- 次の手法は、デベロッパー(開発業者)が統括し、進めていく手法です。
- 今後、この企画が住民のニーズを取り入れ様々なデザインに宣化し、一歩一歩前進していくことが、三角町の振興策への「はじめの一歩」だと考えます。

※デベロッパー(開発業者)
デベロッパー(developer)とは開発業者のことで、大規模な宅地造成やマンション開発、再開発事業、インフラの建設やメンテナンスといった事業の主体となる企業のことである。デベロッパーとも言う。開発の小さいものから大規模なものまであり、開発業者のほとんどがデベロッパーと呼ばれる。単に言うところ、開発や仲介、管理といった役割ではなく、売主や事業主の立場にある企業のことである。

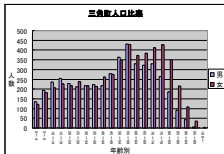
18

ミスマReノベーションプロジェクト



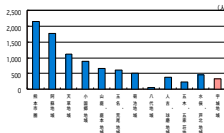
三角町の現状

位置は熊本県のほぼ中央部に突出した宇土半島の西南端部にあり、総面積は48.3km²、南北8km、東西13kmと東西に細長く広がり、東部南部は不知火海に、西部は有明海に面し、北部は宇土市に隣接し、南部は天草5橋により上天草市と結ばれている。熊本市内からは42kmの距離にあり、国道57号及び国道266号の2本の重要路線では60分、またJR三角線では50分で結ばれている。さらに九州自動車道の松橋インターチェンジまでは30kmの距離にある。



三角町の人口は9,800人、世帯数は3,569世帯(平成18年10月末現在)である。また、高齢者(65歳以上)の人数は3,172人で高齢化率は32%とほぼ3人に1人が高齢者という現状であり、さらに高齢化が今後も加速すると考えられる。

海上交通としては、長崎県の島原市との間に「三角・島原フェリー」が就航していたが、原油の高騰等の影響を受け平成18年8月末に撤退した。それに伴い、「海のピラミッド」に outlet していた売店も撤退し、現在では利用されていない単なるシンボルとなっている。



三角町を観光客の視点から考えた場合、三角町のイメージは上天草市の通過点というように位置づけられていると予想される。それは、H14年度熊本県観光動向調査報告書からも分析できる。

1/10

1

サマリー

■目的

三角町は高齢化が進み、町並みも経済も活性化していない。このままでは、過疎化し経済も衰退の一途をたどるであろう。海と山に開かれた「ふるさと」として、存在するのいいと思われる。

しかし、目を惹かして見れば、三角には世界に誇るなんとも素晴らしい観光資源が有るではないか。

日本一の朝日、不知火、レトロな西港、海のピラミッドと美しい海、イルカ、ノスタルチックな小学校跡、

壮大で美しい石打ダム、花の学校、戸馳島、

終点で始発の三角駅、

そしてフランスの食を教った世界一の高級鰻

「kumamoto鰻」の種である「ミスミ鰻(仮称)」、

そして何より三角に暮らす人たちの暖かい心…

そう、三角は観光地として素晴らしい宝である。

この素晴らしい観光資源を

Reノベーション(再革新)させることで、

三角を今までの「天草への通過点」ではなく

「三角で滞在型観光ができる観光地にする」ことが

プロジェクトの目的である。



■理念

三角町に若者を引きつける「魅力」を創り、人が集まることにより、地元の雇用を創出し、

三角及び宇城市の地域と経済を活性化させ、世界に誇れる郷土を創る事を理念とする。

■使命

三角の先人は、この素晴らしい三角を活性化させたいとの使命に燃えた。

そして、そのシンボルとして前衛的なモニュメント「海のピラミッド」が完成する。平成2年2月の事である。

そして、三角には人が溢れ、三角の活性化は大成期を取る。

しかし、時として時間は罪つくりである。

時代が変わると環境も変わり人々の心も変わっていく。

三角も例外ではない。華や日々から16年、すっかり町も変わってしまった。

「海のピラミッド」も密かに佇んでいる。

だが、今、我々は、この三角を最高に輝かせる活かし方を再発見したのである。

今ここで我々がやらなければ誰がやるというのだろう。

今こそ三角を再び活性化させる、そのリーダーには我々しかない。

そしてそれは、三角再生の道を発見し、実現させ得るポジションに立つ我々の使命である。

1/10

2

全体構想

海のピラミッド・西港を「結婚式」などのイベント会場化

- ① 海のチャペル、船上披露宴、西港でパーティ(浦島屋)



- レゲエ・フェスタ、コンサート、劇場のイベントなどを開催
- 週末は、海のチャペルでバー、クラブ

世界一の「鰻」で、三角だけで食べられる食創り

- ② フィッシャーマンズワーフ「ラガール」で海鮮バーベキュー施設
- 世界一の「ミスミ鰻」を中心に、海鮮バーベキュー
- トロ箱で活魚のお土産施設・タコの煎餅焼きの実演販売
- 地元の人の手作りお土産の販売所・バスを入れ込むためのお土産屋創り

- ③ 海岸沿いに、海の見えるコンテナ利用の飲食村

- 40フィートコンテナを飲食施設に改装して海岸沿いに配置

海岸側に大きく窓を造り、海を見ながら食事とお酒が楽しめる

外観はブラック塗装で統一、内装は各店舗に任せる

- 寿司屋 (三角近郊で取れた魚介類)
- 屋台村 (郷土料理を中心)
- カフェ (三角のみかんで作ったオリジナルカクテル等)



一日巡る観光レジャースポット創り

- ④ 海のチャペルから芝生公演に電飾モニュメントで創る「光のファンタジー」を展示



1/10

3

- ⑤ 芝生駐車場にインドアカート中心のアミューズメント施設

- インドアカート

- フットサル

- アミューズメント(楽市楽座)

- カートショップ

- 飲食施設



- ⑥ 戸馳島観光スポット

- 日本一の朝日の海岸と

- ホテル(東海大学研修センターを改革)

- フラワーアイランド

- 花の学校での「九州一のハーブティー・カフェ」



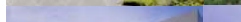
- ⑦ 新緑に覚える「石打ダム」

- 日本一の朝日の海岸と

- ホテル(東海大学研修センターを改革)

- フラワーアイランド

- 花の学校での「九州一のハーブティー・カフェ」



4

④ 西港を「大正ロマンの西港レトロ」→ヘリテージング100選に選出



● 浦島屋などの建物をライトアップ



● 海岸沿いの石畳を、オレンジのガス灯でライティング



● 中央に屋台村・バスを入れ込むための駐車場とお土産屋創り

⑤ 宿泊施設創り

● ノスタルジックな小学校跡地のユースホステル

● 温泉旅館創り

● 街道沿いに、車で泊まれる平屋のアメリカチカな「モーターホテル」創り

全体コンセプトと戦略

「ミミロマンチック街道」で、三角全体を観光スポットにする。

戦略: ① 各観光スポットの各スポットを「ドラマチック」に仕上げる。

- 「名物・売り・見せ方・伝説」を、観光スポットらしく創り上げる。

② 観光ルート・デートコースを創り(点を線で結び)観光客、旅行会社に売り込む

- 観光ルートを創り、旅行会社のバスの人込みを計る。
- 現在54号線がバスのコースになっている。
天草1号橋から東港まで5分程度なので、西港から東港へのバスの引き込みは可能。
- デートコース(デートマニュアル)を「ミミロマンチック街道」と称して作成。
- 各スポットを回ることによって日帰り旅行→1泊して楽しめるように演出する。

③ マスコミ等を使いPRして認知度を高める

- 12月23日の「海のピラミッド」の幻想祭をスタートにマスメディアを使いPR。
- 熊本だけではなく、福岡県内にもPRをしていく(福岡県から観光客を呼ぶ)
- TV局とタイアップして「ミミロマンチックプロジェクト」の進行を取材させ
「三角が生まれ変わった」と全国的にPRする(熊本TVから全国ネットTV局へ)

④ 「海のチャペル」を中心に、継続的にイベントを打つ・海のピラミッドを海のチャペルへ改装

- 「海のチャペル」で、土日は結婚式、夜はバー営業。
- 「海のチャペル」をメイン会場、芝生公園を野外ステージとしてレゲエフェスタを定期開催。
- 「海のチャペル」を演劇ホールとして劇団に貸し出し、公演等のイベントを継続する。

⑤ 各観光スポットを継続的にリニューアルしたりして観光客を飽きさせない。

⑥ 九州で名物観光スポットとして定着させる

- マスメディアへの露出。
- 旅行会社との提携の強化。



戦略の重要ポイント:海のピラミッド・花の学校・西港・三角東港周辺等を活かす!

- 三角町には、「海のピラミッド」だけではなく、いくつも点在して観光スポットがある。
- この点在している観光スポットを結びつけることにより、相乗効果を生む。

毎年、三角西港には30万人を超える観光客が訪れている。
しかし、H14熊本県観光動向調査報告書によると天草地域の観光客数は、宇城地域の観光客数の2倍である。
このような数字を踏まえると、観光客は西港でドライブ休憩して一戸橋を渡っており、旅行会社のバスのコースからも東港は外れている。
そこで、「海のピラミッド」を基点に、海岸付近に存在する「花の学校」や「西港」を海上ルートで結ぶことにより、1日中観光できるルートを創出する。

三角活性化の起爆剤:海のチャペルでの結婚式

- 海のピラミッドにて結婚式(人前式)
- 海のピラミッド→船で移動中に船上披露宴→西港でパーティ

戦略ポイント:
西港では、週末になると数多くのカップルがデートに訪れ、熊本県下でも有数のデートスポットと考えられている。
このようなデートスポットと海のピラミッドを海上ルートでリンクすることで、「海上デート」が楽しめます。
それだけでは留まらず、「海のピラミッド」をチャペル(教会)又はハウスウェディングにすることによって
デートから結婚までの一連のストーリーが完成する。
また、「海のピラミッド」で挙式又は人前式を行い、海のピラミッド→西港まで遊覧しながら海上披露宴を行うことができる。その後、西港(思い出のデートスポット)の浦島屋やオレンジカフェなどで2次会が行える。

※ハウスウェディング
今話題のハウスウェディングとは「即ち風の結婚式」のことで、海外の映画で見られるような自宅で行う結婚式をイメージしています。
日本では大きな洋館に在っている人は少ないので、日本では結婚式用に建物を1軒まるごと貸し切って、ハウスウェディングが行なわれます。

ミミロマンチック街道の歩き方:デートマニュアル

- 12:00 「ラガール」で世界一の「ミシミズ」の海鮮バーベキューでランチ
「ラガール」で、活魚や地元の特産物を探索(まだ買わない)
- 13:30 東港から西港まで「クルーザー」で船上デートしながら移動。
「西港レトロ」のカフェでお茶と石畳を散策
「西港レトロ」のお土産センターで、三角のお土産を探索・お買い物
- 15:00 東港の「インドアカート」でアミューズする
「インドアカート」に乗り、「カーショップ」を覗き、「茶室茶座」でゲームに熱狂。
そして、「フットサル」でサッカーに挑戦。
- 16:00 「海のチャペル」で結婚式を発見。素晴らしい式に感動!!
「ウェディング・クルーズ」に見とれて、感動!!
- 17:00 東港の海岸に立つ「コンテナ・カフェ」で夕日を待ちながら「お茶」
隣の「コンテナ寿司」で夕日を見ながら、三角の魚介類の寿司を堪能
- 18:30 「海のチャペル」と芝生公園の「光のモニュメント」が夕闇の midpoint
美しい電飾の光の中を、東港を、腕を組んで、散策
- 19:30 西港に移動し、海岸沿いの「オレンジのガス燈」の光の中「海岸沿いの石畳」を散策
海岸沿いの「カクテルバー」美しい夜景を見ながら「三角カクテル」で乾杯!!
- 21:30 戸馳島に渡り、「東海大学のホテル」にチェックイン
- 06:00 ホテルの窓から「日本一の朝日」を見て、感動!!感謝!!!
- 07:00 ホテルで朝食。朝日を浴びながら「海岸」を散歩
- 09:30 隣の「フラワアイランド」で、ハーブティおじさんの「ハーブティ」を嗜む
- 11:00 新緑の「石打ダム」で新鮮な空気で気分爽快
- 13:00 東港に戻り、海辺の「屋台村」でランチ
海のピラミッドでやってる「レゲエフェスタ」で気分リフレッシュ
- 15:00 「ラガール」で、昨日チェックしていた「活魚」を「トロ箱」でお土産ゲット
- 16:00 感動を胸に家路へ

プロジェクト推進のポイント

本質は「企画推進者と地元が一体となり燃える」事だが、実際は困難。
集団は、一般には、2(前向き):6(傍観者):2(反対派)と言われている。
(倒産会社や敗北感が氏染みついた集団では5:75:20とも言われる)
そこで、プロジェクトを成功に導くポイントは、次の3つのステップに集約される

- ① 2割のリーダー群を徹底的に燃えさせる(リーダー群にも2:6:2が存在)
- ② リーダーに引っ張られて、6割の傍観者が前向きになってくる
そこで、6の傍観者には、実行にプロセス関与させる事が重要
- ③ 6割の傍観者が前向きになると、2割の反対派は渋々参加する

つまり、地元の前向きなリーダーを徹底的に燃えさせることが最重要ポイント。
燃えさせるポイントは、リーダー自身への「重要感を植え付け、プロジェクトへの使命感を育てる事」である。

地元のリーダーへすべき事は、

- ① 重要なポストと役割・明確な行動指針を与える
- ② プロジェクトの目的・使命・目標を明示し、成功イメージを植え付ける
- ③ プロジェクトリーダーの「燃える心」と市のバックアップ(安心感)

アクションプラン 1st ステージ：イベントとPR

2006.12 Step 1：「幻灯祭」

- 12月23日の「幻灯祭」を一大イベントにしてキックオフ
- 住民参加で「海のチャペル」のイルミネーション
- 「海のチャペル」で地元のカップルの「人前式」
- 最近話題のハウスウェディングを民間業者の協力のもと、ピラミッド内で結婚式を開催。
- 「海のチャペル」で音楽イベント開催
- 音楽イベントについては、民間のイベント会社の主催で開催し、駐車場ではラガールとタイアップ。

2007.春 Step 2：「120年祭」

- 「海のチャペル」の本格的なイルミネーション完成
- 「海のチャペル」での本格的なバー営業
- 芝生公園を「光のファンタジー」のオープン
- ラガールにて「三角カキ」での海鮮バーベキュー
- 東港の海岸沿いに「コンテナ屋台群」にて飲食の提供。「カフェ」「寿司屋」「居酒屋」「焼酎バー」など
- 「西港レトロ」でヘリターging100選としてライトアップ
- 中通りに「屋台村」で、海を見ながら飲食
- 音楽イベント(レゲエフェスタ)の開催→JRで専用便等
- PR大作戦：マスメディア・パブリシティをフル活用してPR

アクションプラン 2nd ステージ：設備投資

2007.秋 Step3：遊びの施設

- 海辺の空き地にインドアコート
- 「楽市楽座」のアミューズメント施設
- 「フットサル」と「サッカー教室」など
- 東港と西港を結ぶ「クルーズ船」
- 土産施設
- 「ラガール」で土産販売(地元中心だが品揃えを重視)
- 西港に土産センター開設(西港レトロをテーマ)
- ※バスで観光客を搬送するには1人300円以上の手数料を
旅行会社と長年交渉があるので、土産施設は不可欠

2008.春

- 宿泊施設
- 既存ホテル、温泉旅館等の再開発(再オープン)、東海大学のホテル、地元の温泉旅館
- 既存施設の有効利用:廃校した小学校などを改装
- 新規ホテル開業:旅館・ペンション等
- アメリカ風のモーターホテル等

2008.秋 Step4：観光地化・観光ルート、バスルート創り(1号線を通り越して)

- 1日目：西港～東港(昼食、買物、遊玩)～戸馳島(宿泊)
- 2日目：朝日見学～花の学校～石打ダム

おわりに

今回の、ミスマスReノベーションプロジェクトは、
民間のデベロッパーが企画し主体となり、民間で運営する事が基本であります。
そして、その成功の鍵は、行政の全面的なバックアップと地元全体での協力・参加体制が出来事に掛かっております。
今後、この企画が住民のニーズを取り入れ様々なデザインに変化し、一步一步前進していくことが、
三角町の振興策への「はじめの一歩」だと考えます。
平成2年に建築した海のピラミッドで三角は活性化しましたが、
環境の変化により海のピラミッドは、今、密かに佇んでおります。
今年12月23日、幻灯祭で、新しく海のピラミッドは生まれ変わり、三角も新しく生まれ変わります。
今こそ、三角の未来の為に立ち上がる時であります。
12月23日が、記念すべきインディペンデンス・ディとなることを願って、
皆様方のご協力をお願い申し上げます。

※デベロッパー(開発業者)

デベロッパー(developer)とは開発業者のことであるが、今回は、企画立案・推進する「開発コンサルタント」として、民間に変託した組織体である。

※インディペンデンス・ディ

本来は「独立記念日」である。三角は「天草の通商・天草の一部」と言う認識が世間一般であった。
この前年の夜間をもって、天草から、熊本から、いや九州から独立すると言う希望をもって、
あえて12月23日を、独立記念日=インディペンデンス・ディと記す。

ピラミッド・フェニックス計画



目標	＊三角駅前・中心部の活性化 ＊周辺商店への経済波及効果 ＊西港を含めた三角全域の観光振興の先駆 ＊三角を中心とした、宇城・宇土・天草（宇土半島&天草諸島）の観光振興・活性化
目的	＊通常営業においては、宇土半島&天草諸島を中心とする若者層（20才～30代、40代）の交流。20歳未満は入場禁止。年齢の上限は設けない。 ＊貸切イベントにおいては、熊本市内・県内・九州圏内からの動員・集客
実践	＊フェリー乗り場「海のピラミッド」における、飲物を中心とした飲食の提供 ＊貸切イベント以外は入場料の徴収は行わない。 ＊飲物は自販機を主力とした販売＊食物は物販の販売方法。原則として店内調理は行わない。 ＊イメージとしては、フェリーの待合所に自販機とおみやげ品屋がある状態。 それに若干のエンターテイメント性を加えた程度。
価格帯	＊飲物 200～500円 ＊食物 200～500円 ＊予想客単価 1000円前後
収益	＊市価より若干高めに設定した自販機の差益 ＊食品・物品の販売 ＊コインロッカー、ジュークボックスの使用料 ＊会場運営の為の自由意志に基づくカンパ・募金 ＊店内外における物品販売業者からの協賛金
営業時間	＊毎週 土曜 日没～深夜
運営主体	＊スターライトカフェ関連団体及び地元有志

業態 参照 URL

J-POP CAFE 渋谷

http://www.j-popcafe.com/

ピラミッド・イルミネーション化計画
予算見積と消費電力予想

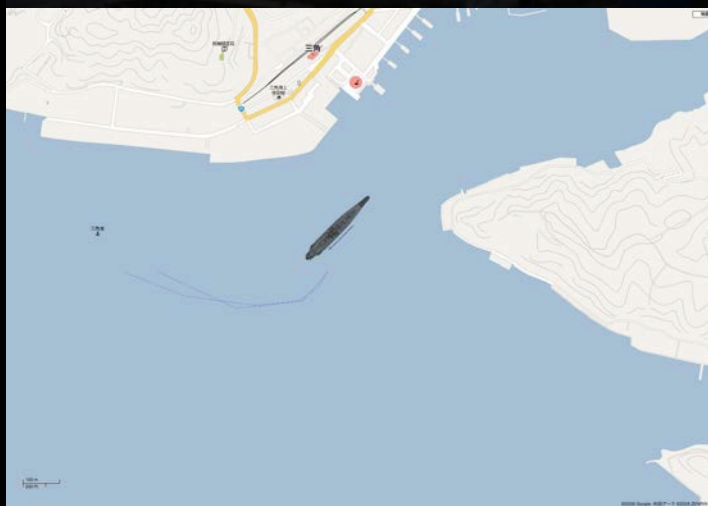
ピラミッドの半径 (メートル)	底面の半径	19		
ピラミッドの高さ (メートル)	円錐の高さ	24		
ピラミッドの表面積 (平方メートル)	円錐の側面積	1827.146074		
LED 1平方メートル当たり単価 (円)		¥ 3,000		
LED 総額 (円)		¥ 5,481,438		
消費電力1平方メートル当たり (W)		6.5		
総消費電力 (kW)		12		
実際には頂点部分、スロープ、ドア・窓 部分が除外されるので、この数字よりは少ないと思われる。				



1/1 (実物大) 戦艦大和+カジノ・ホテル@寺島



ピラミッド・イルミネーション+カジノ・ホテル@寺島



1/1 (実物大) 戦艦大和平面図と位置



ピラミッド・イルミネーション

宇城市の地域通貨

ウッキー・Key

加盟店大募集!

使ってみよう!

ウッキーくん

500

100

しくみは簡単、

ウッキーは加盟店で普通の現金の様に商品と交換されます。

地域でみんなのウッキーをバックでウッキーがみんなの宝になる。

ウッキーは加盟店で普通の現金の様に商品と交換されます。

ウッキー・Key

そうやって地域のみんなの価値で交換し循環することで、人とのやりとりが楽しく活発になっていくのです!

はじめてみよう、ウッキー

地域の皆さんが、ウッキーのことを知り、ウッキーを使って、ウッキーの仕組みを活かしていくにつれて、この地域がその名の通り「うきうき」になるように考え出されたシステムです。皆さんが、地域に対する気持ちをウッキーを使うことで表現すれば、ウッキーも皆さんに恩返しをしてくれる仕組みになっています。

ウッキーは現金と似たような流通の仕方をしますが、その入手方法はさまざま、そして、使われ方もさまざまです。近い未来を楽しくするためのちょっとしたコツは、ウッキーを通して知ることができます。

お問い合わせ
ウッキー事務局
メール: info@u-key.co
FAX: 0964-32-6789
ホームページ
www.u-key.co

宇城市地域通貨「ウッキー」(U-Key)

ウッキーのしくみ

地域独自の通貨と普段のお金も
ちよっとウッキー。
楽しく地域をもりあげる、それが地域通貨です。

- ウッキーの交付**
ウッキーは宇城市の地域づくり団体のイベントなどを通して交付されます。ウッキー紙幣の裏面に、交付団体の目印(スタンプ)が付けられます。
- ウッキーの利用**
1 U-Key = 1円相当として、ウッキー加盟店で利用(使用)されます。
- ウッキーの活用**
ウッキーは無期限で使用でき、加盟店同士でも使用できます。受け取ったウッキーは、できるだけ加盟店で使うようにしてください。
- ウッキーの兌換**
ウッキーがなくなってきたとき、どうしても使いきれない時は事務局にて兌換できます。兌換は月に1回の交換会をご利用ください。また、兌換の際には交換額の半額の日本円と残り半額の U-Key をお渡しします。
- ウッキーの清算**
事務局に戻ってきた U-Key は、紙幣裏面の交付団体へ請求・清算されます。

やあやあ

使い方は普通の
お金と一緒に
おこなうね

加盟店加入ご希望の方は、登録申込書にご記入の上 FAX いただくか、必要事項を明記しメールでお申込ください。その他、グループ単位の説明会の開催もいたします。下記までご連絡ください。

加盟店にはスタンプが貼られます

ウッキー加盟店登録申込書

団体名	申込日	
役職	代表者名	
住所		
電話	FAX	
Mail	HP	
事務局使用欄		

ウッキー事務局 メール: info@u-key.co FAX: 0964-32-6789
(おさもん塾ウッキープロジェクト組:坂井)

ウッキー事務局 メール: info@u-key.co FAX: 0964-32-6789
(おさもん塾ウッキープロジェクト組:坂井)

カジノが、「切り札」

地域振興、地方財政の再建に、速効性ある「切り札」。

それは、カジノを造ることである。

速やかに特別措置法を策定し、実現に努めるべし。

特定の地域を選んで、限定的にカジノを造る。

まず「夕張」に。←これは説明を要さない。

つぎに、「シーガイア」を改装、カジノ併設。

…鳥インフルエンザを克服した東国原知事の、次の宿題。

そして、「新潟北越」。…災害復興施策。

これらの限定カジノでは、

域内でのみ使用出来る、“地域通貨”を設定。

カジノをメインに、様々なアミューズメントを展開。

ホテル・レストラン・スパ・テーマパーク・プレミアムグッズ、etc

余った通貨残高は、預託が可能なシステムも作る。

石原都知事の主張する、お台場カジノは弊害の方が多い。

都会に近いカジノは、裏社会や不良外国人の温床、

第二の新宿・大久保を生み出すだけである。

(USAでは、NYでもLAでもなく、砂漠に「ラスベガス」はある。)

公営ギャンブルは、地方財政に多大な寄与をしたが、

いまは衰退の一途、赤字の負担が重くなり、

一転して、事業縮小や廃止が続き、恩は仇で返されつつある。

事態の打開策は、「完全民営化」が唯一の道だが、

官僚の天下り先であり、関係団体への収益のバラ撒きという、

二重の“うまみ”を享受してきた監督省庁が、未だに手放さない。

因みに、公営ギャンブルの監督官庁は、

中央・地方競馬……農林水産省。

競艇……国土交通省。

競輪・オートレース……経済産業省。

ついでに、TOTO(スポーツ振興くじ)……文部科学省。

宝くじ……総務省。

これらの相互関連性に、説得力は全く無く、

“利権漁り”以外の何物でもない。

賭博を法律で禁じていながら、

詭弁で黙認している、「パチンコ」などは、

ハイリスク・ハイリターン率の賭博性を、どんどん高め、

サラ金地獄に嵌まり込む中毒者を量産しており、

収益のかかなりの部分が北朝鮮に流れているのは、衆知のこと。

すべからく、日本の公認賭博は、非健全の極みといえる。

新カジノの私案は、

真に、地域振興・地方財政再建に寄与するものであり、

実現すれば、必ず有意のものとなる。

榎原通信

http://kasihara.tea-nifty.com/kenjya/2007/06/post_3dba.html

旅人の100ユーロ

ときは8月、黒海沿岸の町。
雨にぬれる小さな町は活気がなく、すっかり寂れていた。
人々は借金を抱えて苦しい生活をしているのだ。

その町へ、一人の旅人がやってきた。
そして町につしかなないホテルに入ると、
受付のカウンターに100ユーロ紙幣を置き、
部屋を選ぶために2階へ上がって行った。
ホテルの主人は100ユーロ紙幣をひつつかんで、
借金返済のために肉屋へ走った。
肉屋は同じ紙幣を持って養豚業者へ走り、
100ユーロの借金を返した。
養豚業者はその紙幣を握ると、
つけにしてある餌代と燃料代を払うために販売業者に走った。

販売業者は100ユーロ紙幣を手にする、
この厳しいご時世にもかかわらず、つけでお相手をしてくれる
町の遊女に返そうと彼女のもとに走った。
遊女は100ユーロ紙幣を懐にしてホテルに走り、
たびたびカモを連れこんだホテルに借りていた部屋代を返済した。

ホテルの主人は、その100ユーロを受け取ると、
紙幣をカウンターの元の位置に置いた。
ちょうどそのとき、部屋をチェックして2階から降りてきた旅人が、
どの部屋も気に入らないと云って
100ユーロ紙幣をポケットにしまいこみ、町を出て行った。

誰も稼いでないけど、町中の誰もが借金を返し終わり、
町は活気を取り戻した。

地域通貨のことを書いてみます。ただこのような地域通貨は現行の、法定通貨を発行している政府から決して許されるものではなく、ただ理論だけと言うことになります。

ある一つの地域に100世帯の人が住んでいます、それぞれ何らかの労働に従事しており、全体の労働がこの地域を養うのに十分な量を持っています。例えば1の世帯は米を作る農家であり、2の世帯は魚類を捕獲し販売している漁業者でありというように、100世帯は各自この地域が必要としている労働に従事しています。

ただし現在は法定通貨という「円」を使っていますが、今の日本の現状と同じように不況色が強く失業者もあふれる状態です。

ここである数人のリーダー的な人が集まりこの状態を何とかしなくてはと考え、自分たちも地域通貨を導入してみようとなりました。本来は地域通貨をその地域に導入することは財務省に届けなくてはなりません。彼らはそのことを理解していなかったため、地域の中でプレス工業に従事している58番の人に数種類の通貨を発注いたしました。

それは現行の法定通貨に照らし合わせてみると、1円があり5円、10円、50円、100円、500円、1000円、そして硬貨として5000円までは必要だろうと考えそれ等を作り出したわけです。そしてこのプレスやさんには工賃として地域通貨を渡したわけです。

それほどの通貨に対しての理解をしていなかったことから、その通貨は貯蓄という溜め込みはできないわけでした。

彼らリーダーたちはプレス屋から受け取った彼らの硬貨をその地域の人に渡すべく、1割の上乗分をつけて現行の円との交換をいたしました。最初は地域の人たちは1割余分にもらえたうえ地域内でなら自由に使えるということで現行通貨から地域通貨に大量に交換しました。ここでは交換に使われた現行通貨の「円」はリーダーたちの元へ大量に集められましたが、そのことは後で書くとして、今は交換された地域通貨に絞って書いていきます。

まず1の世帯が地域内にある6の人がが作って販売している総菜屋に向かい今夜食べる夜食のおかずを買っていきしました。6の人も仕事が終わったときに飲むビール等酒類を15の人から購入しました。このようにこの地域の人が日常必要としている商品は、地域の人たちが作ったもので充分間に合うため、この地域通貨は1から6に渡り、6から15に渡りとその価値を減ずることなく人々の間に流通していききました。

地域通貨で買い物不自由なくできるということから人々は今まで我慢していた買い物へと走りました、それと同時に今まで売れなかった商品が売れ出したわけですから、生産を増やさざるを得ませんという。家長の生産だけでは間に合わず、それまで失業のため家でごろごろしていた息子にも別のところで生産販売をさせ、自分の労働で生活を成り立たせるための金を稼がせ、ニート生活から開放させました。

今までその地域で失業していた人たちも、ある人は便利屋となり仕事が忙しくなった人たちの手足となり、1回500円なりの配達料金を貰い商品を届ける仕事を立ち上げました。1回500円でも1日に10人、15人から頼まれていくと充分生活が成り立ちました。

一度法定通貨の「円」から交換された地域通貨は決して減ずることなくその地域の間を人々の労働によって作られた商品の交換に絶えることなく永久に回り続けるわけです。ここでは波及効果は無量大ということになります。生活が楽になったことから今まで別に生活をしていた年老いた老人を、息子なり娘が引き取り面倒を見ることができるようになりました。また老人はそれなりに家での役割を見つけた店番として働いたり庭掃除をしたり孫の面倒をみたりと毎日が忙しくなりました。

そこで一番困ったのは銀行でした。地域通貨では預金ができないため誰も銀行を利用する必要がなくなったため、毎日が開店休業状態となりそれまで働いていた行員が、その地域で自分にできる仕事を探し出し、ある人は赤提灯の居酒屋となり、また地域通貨では大型家電が変えないため、壊れて修理が必要となった人のため家電品の修理業を起業したわけです。

そこで一番困ったのは銀行家でした。行員もいなくなり銀行家だけが一人取り残されてしまったのでした。

最後に書くことはリーダーたちが手にした法定通貨の「円」はそのまま持っていたのでは地域通貨を発行したための莫大な利益（通貨発行益（シニョリッジ））になってしまうのでその地域では生産できない物を地域外から購入してきて地域通貨で売るわけです。

やがてこの地域では経済活動が活発になり、失業もゼロになったわけです。

メダタシ、メダタシでおわります。

ヴェルグルの奇跡

ゲゼルの自由貨幣理論を導入して大成功を収めた町がありました。
オーストリア・チロル地方の小さな田舎町、ヴェルグルです。

世界大恐慌の影響は、このヨーロッパの小さな田舎町にも波及していました。
当時の人口わずか4300人のこの街には500人の失業者と1000人の失業予備軍がいました。

通貨が貯め込まれ、循環が滞っていることが不景気の最大の問題だと考えた当時の町長ミヒャエル・ウンターグッゲンベルガーは、自由貨幣の発行を実践してみようことを決意し、1932年7月の町議会ですたンプ通貨の発行を決議しました。

不況の影響により、通貨の貯蓄性が過剰なまでに人々に働きかけた結果、お金が循環しにくい経済状況が生じてしまったということですね。それを重く見た町長は、貯蓄性を無効化するゲゼルの通貨理論に一線の希望を見出したという訳です。

そこで、ウンターグッゲンベルガー町長自身が地域の貯蓄銀行から32000オーストリア・シリングを借り入れ、それをそのまま預金として預け、それを担保として32000オーストリア・シリングに相当する「労働証明書」という地域通貨を発行しました。そして、町が道路整備などの緊急失業者対策事業を起こし、失業者に職を与え、その労働の対価として「労働証明書」を与えました。

ここで注目していただきたいのは、発行されたお金は銀行からの借金ではなく、銀行から借り入れた32000シリングを担保として発行した「公債」であるという点です。

この点の重要性については後述します。

労働証明書は月初めにその額面の1%のスタンプ（印紙）を貼らないと使えない仕組みになっていました。つまり、言い換えれば毎月その額面の価値の1%を失うことになるのです。したがって手元にずっと持っていてもその分だけ損するため、誰もができるだけ早くこのお金を使おうとしました（貯蓄性の無効化）。この「老化するお金」が消費を促進することになり、経済を活性化させたのです。

当初発行した32000シリングに相当する「労働証明書」は、次第に必要以上に多いことがわかり、町に税金として戻ってきた時に、そのうちの3分の1だけが再発行されることになりました。「労働証明書」が流通していた13.5ヵ月の間に流通していた量は平均5490シリング相当に過ぎず、住民一人あたりでは、1.3シリング相当に過ぎません。

しかしながら、この「労働証明書」は週平均8回も所有者を変えており、13.5ヵ月の間に平均464回循環し、254万7360シリングに相当する経済活動がおこなわれました。これは通常のオーストリア・シリングに比べて、およそ14倍の流通速度です。回転することで、お金は何倍もの経済効果を生み出すのです。

こうしてヴェルグルはオーストリア初の完全雇用を達成した町になりました。「労働証明書」は公務員の給与や銀行の支払いにも使われ、町中が整備され、上下水道も完備され、ほとんどの家が修繕され、町を取り巻く森も植樹され、税金もすみやかに支払われたのです。

しかしながら、銀行が創造するお金のような「プラスの利子」は発生せず、無限の経済成長と、弱肉強食の経済競争を強制する性質はありません。また、減価するため、お金を大量に保有することによる「支配力特権」も存在せず、本当にお金が必要な層にも、消費するのに十分なお金が供給されたのです。このように、積極的に流通する性質に特化したお金は、経済的悪状況・不平等を取り除く効果があります。

ちなみに、ヴェルグルの成功を目の当たりにして多くの都市はこの制度を取り入れようとした。

1933年6月までに200以上の都市で導入が検討されましたが、オーストリアの中央銀行によって「国家の通貨システムを乱す」として禁止通達を出され、1933年11月に廃止に追い込まれました。



News Web Japan 2001年10月17日
http://kodansha.cplaza.ne.jp/broadcast/special/2001_10_17/index.html

大規模リストラ、あいつく倒産、完全失業率は増加し、今年度の税収見通しは1兆円減と日本経済の暗雲は濃くなるばかりである。さらに米国同時多発テロもあり、世界経済の屋台骨が揺らぎ始めている。小泉首相が振り上げた「構造改革」もいっこうに進展がない。果たして日本経済に明日はあるのか！？そこで俄然注目されてきたのがカジノ構想だ。北は北海道から南は沖縄まで、日本列島では今、カジノをめぐる論議が沸騰している。国・地方の債務残高は合わせて645兆円。この底なしの借金地獄から這い出すためにも、文字通り賭けに出るしかない。しかし、何事につけて機を見誤り、勝負負いことこの上ない日本政治のこと、「うまく行けば30兆円」との説まであるこの大勝負で、「活性化の最終兵器」を使うことが出来るのだろうか。

① 葉京浜ベルトはラスベガスに匹敵

カジノ導入のアイデアは、沖縄や秋田などで以前からあった。ここへきて俄然ボルテージが上がっているのは、やはり石原慎太郎都知事がことあるごとに「お台場にカジノを」と発言してきたからだろう。都の財政建て直しや雇用創出が目的だが、9月6日に都内で開かれた観光産業のシンポジウムでは、持論をさらに拡大して「日本全体にカジノがあってもいい」「合法化されれば、温泉街もよみがえるだろう」とまで述べて

実務的な動きは水面下に隠れ、「いつまでに、どんな形で」という具体案はなかなか見えて来ない石原カジノ構想だが、都が8月末に発表した観光産業振興プランの素案に、手がかりを見つけることはできる。ここで都が掲げた目標は、2006年までの5年間で外国人旅行者を600万人に倍増させるというもの。そして、そのためにはカジノなどの新たな観光資源の開発が必要と指摘している。

そもそも、お台場を含む臨海副都心(http://mixi.jp/view_community.pl?id=194732)開発は、「職と住の均衡のとれた理想的な未来都市」を目指してスタートしながら、パブル崩壊、都市博の中止という逆境に直面する中で、「遊」へとシフトしてきた経緯がある。

デックス東京ビーチ(http://mixi.jp/view_community.pl?id=1123091)、ヴィーナスフォート(http://mixi.jp/view_community.pl?id=507518)、アクアシティお台場(http://mixi.jp/view_community.pl?id=2033269)などの開業に従って、臨海副都心の来訪者数は年々増加し、昨年には3670万人と、東京ディズニーランドの2.2倍もの活況を呈した。2002～2005年には、臨海高速鉄道(http://mixi.jp/view_community.pl?id=2473264)の大崎延伸、晴海通りの延伸による都心直結が予定されている。ここに前述した観光産業振興プランを重ねてみると、カジノ建設をもって、お台場が都心と結ばれた一大テーマパークと化すイメージが見えてくる。

都の事務方から接触を受けた、日本カジノ学会理事長で評論家の室伏哲郎氏は言う。「本場のラスベガスも、カジノは集客の核であり、コンベンションホールやショッピングモールを合わせた総合エンタテインメント産業として成功している。それと比べても、千葉の幕張からお台場を経て横浜に至る葉京浜臨海ベルトは、相当な強みを持っている」

② 企業はバイ争奪へ着々た布石

カジノ解禁でもたらされるメリットとは、どの程度のものか。

たとえば、「東海岸のラスベガス」とうたわれる米国ニュージャージー州・アトランティックシティの場合、1976年にカジノを解禁したことで、5万人近くの雇用が生まれ、年間3000万人もの観光客を集めている。人口がわずか30万人であることを考えると、絶大な効果だ。

石原知事は雇用面の効果として、さしあたり1万人程度を想定しているようだが、これは十分可能な数字だろう。小泉構造改革がモタつき、失業率上昇という痛みばかりが先行している今日この頃だけに、「新規雇用」の魅力は確かに大きい。

都市開発の専門家によれば、「カジノの運営形態や規模によって違って来るが、お台場ならば1兆から1兆5000億円の経済波及効果が見込める」とのこと。経済界の一部にはすでに、カジノ解禁のその日を見越した動きが出始めている。

ゲーム機業界の成長株、コナミ(http://mixi.jp/view_community.pl?id=637393)は昨年10月、ラスベガスでカジノ向けゲーム機生産の免許を取得。3年後に150億ドルの売上達成を目指して、ビデオ・スロットマシンなどの納入を開始し、今年8月にはカジノの管理システム会社も買収した。パチスロ・メーカーのアルゼ(http://mixi.jp/view_community.pl?id=178172)も、これに追隨するように、ラスベガスでカジノを運営する米国企業に2億6000万ドルを出資、ノウハウの吸収に乗り出した。

また、株式市場では、公営ギャンブルの地盤沈下で実績の裏づけが弱いと言われながら、大井競馬場、伊勢崎オートレース場などの賃貸を主力事業とする東京都競馬が一時買われている。石原知事の構想どおり、臨海部にカジノができれば、その運営などにかかわるとの思惑を誘っているらしい。

③ 特例新法で「自立の武器」に

期待はふくらめど、絵に描いたモチではしやうがない。刑法で禁じられているカジノを合法化するには、国政レベルでのアクションが必要になる。注目の石原知事は、カジノ構想を2期目の目玉に持ってくるというのがもっぱらのウワサで、中央政府への本格的な働きかけは、もう少し先になりそうだ。

だがこれとは違う所で、政府は来年早々にも、カジノについて何らかの判断を下す可能性が高い。

沖縄県の経済団体の代表らが8月21日、福田康夫官房長官、麻生太郎自民党政調会長らを訪ね、来年春に制定予定の沖縄振興新法の中に、カジノ導入を盛り込むよう求めた。旗振り役の國場幸一郎・県建設業協会会長によると、政府与党側の反応は「がんばれ、ただし県内のコンセンサスが大事だ」とのことだった。

沖縄振興新法は、来年3月末に期限が切れる沖縄振興開発特別措置法（沖振法）に替わるものだ。'72年の復帰以来、政府は沖振法に基づき、本土との格差是正を目的に6兆円を超える振興開発事業費を投じてきたが、十分な効果が生まれたとは言い難い。そこで、沖縄県は改めて「格差是

正」の旗を降ろし、「自立の武器」になる1国2制度的な特例新法の制定を政府に要求。経済界としてはその中に、カジノ導入のお墨付きをねじ込みたいというわけだ。

新法の内容としては金融特区、物流特区などの構想の方が先行気味だが、カジノへの注目度にもわかにか高まっている。9月に入ると、政府・与党の言葉に応えるかのように、沖縄経済同友会がカジノ特別委員会の設置を決定、観光コンベンションビューローと青年会議所が、それぞれ講演会を開き、琉球銀行がアンケート調査を行うなど、具体的な動きが続いた。

観光は、沖縄経済の屋台骨を支えている。1年間に、県外から沖縄に流れ込むカネは1兆3000億円。政府の振興費と基地収入とで8200億円を占め、農・水・工は合わせて800億円弱という中にあって、観光は4500億円を稼ぎ出しているのだ。

若手の企業経営者はこう話す。「金融、物流と言えは聞こえはいいが、インフラの厚いシンガポールや香港、釜山などと勝負するとなると、正直言って気が遠くなる。自立を急ぐなら、沖縄の強みを生かすべきだ」

また、こんな見方もある。「沖縄の観光は今でこそ好調だが、滞在日数が短く、リピーターが少ないという致命的な弱点がある。青い空と海だけで売ってはいは、いずれバリ島やタイ、マレーシアに完敗する」

つまりは、沖縄が今後、本格的に観光立県を目指すとなれば、カジノは「あった方がいい」という次元のものではなくってくるというのだ。

そしてもうひとつ、カジノ構想の具体化を急ぐ琉球経済人の本音を、國場氏が率直に語ってくれた。「振興新法は基地負担に対するインセンティブであるだけに、沖縄の競争優位につながるのが望ましい。カジノは1国に1～2カ所が通例。豪腕の石原都知事に先を越され、後悔を残すようなことは何としても避けたい」

さまざまな思惑をはらんで加速するカジノ開国議論だが、行く道は決して平坦ではない。次回からは、実現までの課題を見る。

News Web Japan 2001年10月24日
http://kodansha.cplaza.ne.jp/broadcast/special/2001_10_24_2/index.html

横行するアングラ店の隆盛

① 頭をもたげる慎重論

カジノ構想への注目が高まっている沖縄では10月に入り、導入の賛否を問う意識調査の結果が相次いで発表された。

琉球銀行が顧客を対象に行った「観光リゾート産業の振興に関する県民の意識調査」では、条件付きを含む賛成が41.2%、反対37.1%と賛否が拮抗。県中小企業家同友会の会員アンケートでも、導入賛成が50%、反対が31.2%、「功罪を研究して判断すべきだ」が18.8%と、慎重論は根強い。

唯一、沖縄観光コンベンションビューローが賛助会員を対象に実施したアンケート調査では、条件付きを含む賛成が72%で、反対の7%を大きく上回った。ただ、こちらの対象は観光関連業者や自治体为主。県内の一般世論とは切り離して見たほうがいいのかもかもしれない。

カジノに対する反対・慎重意見は以前からあったが、8月に導入推進派の県経済団体会議が政府・与党に接触したあたりから、改めて頭をもたげてきた。

地元紙は、「カジノ導入にはプラス面とマイナス面がある。経済の論理だけで決められるものではない」「観光沖縄の健全なイメージが損なわれ、悪影響を与える恐れもある」とする社説を掲載。投書欄にも、「ギャンブルにおぼれて身の破滅の危険性もある。暴力団の資金源になりやすいなど問題が多い。『基地とギャンブルの島』のイメージがつかまとうことを県民は覚悟しなければならない」との主張が載った。

女性団体の反発はとくに強く、9月27日には県内33団体の代表が行政に導入反対を申し入れ、「カジノはギャンブルであり、刑法185条で禁じている犯罪行為」と、警戒色をあらわにした。

明治以来、賭博は長らくご法度とされてきただけに、いざ、わが町にカジノ建設の話が持ち上がった場合、人々が慎重になるのは無理もないことだ。さらに現在の日本における「カジノ」の実態を見れば、女性たちの警戒心も決して大袈裟とは言えないのだ。

② アングラ店の密かな隆盛

東京・渋谷の繁華街。表通りから路地をいく筋が入った所に、その店はあった。

一見、何の気配もない小ぶりなテナントビルの正面に着くと、近くに停まっていた車から茶髪の若者二人が降りてきた。一人がこちらの車のキーを預かり、もう一人が我々といっしょにエレベーターに乗り、上階の店まで先導。監視カメラで確認後、ようやくドアが開かれた。40坪ほどの店内には、バカラ台が3台とルーレット台が1台。バカラ台は満席で、近くの壁には「ミニマム30ドル」の張り紙がある。

話すのは、この日の案内役を引き受けてくれた、他のカジノの経営者だ。「張り紙は、最低賭け金は3000円という意味。この店は良心的なほうで、ウチはもっと高い。お客は成金か金回りのいい商売人だが、どちらかと言えば普通の人。ありきたりの遊びには飽きたというくちだ」

さらに他の盛り場へ移動し、もう1軒覗いた。スナックビル内にあるその店に客はおらず、ディーラーたちが麻雀に興じていた。聞けば、店外で休息中の客が帰るのを待っているという。「この客は、いつも一人。ほかに客風の人間が何人かいるけど、皆、店側が用意したサクラだよ。上筋の客に、寄ってたかって勝負を吹かけられるから、店側の勝ち手堅いし稼ぎもデカイ」

俗にアングラ店と呼ばれるこうしたカジノは、'90年代はじめに関西方面から出てきたとする説が一般的だ。'92年ごろには、現金を賭けない合法のカジノバーが流行ったが、現実にはほとんどの店が換金をしていた。

警察も、違法賭博の広がりには比例して摘発を強化した。'95年2月7日には、東京・赤坂のカジノバー「コートダジュール」に捜査員170人がなだれ込み、従業員と客、合わせて88人を現行犯逮捕。同年5月17日には大阪・心斎橋の「ニュー・ベガス」で計105人が逮捕された。その後も取り締まりは厳しきようし、表向きは成果を上げたが、陰では警察の監視の目から逃れるように、カジノのアングラ化がさらに進んだ。

現在でも都内のアングラ店は、新宿に50店、六本木に20店、渋谷に20店など、その数200は下らないと言われ、ひと晩に数千万から億単位のカネが飛び交う。フェアな店もあればイカサマが仕組まれる場合もあり、もちろん、身を滅ぼす人も少なくない。

20坪ほどのごく小規模な店でもひと月の利益は1〜4億にのぼる。6月に東京・新小岩で摘発されたアングラ店は、3ヵ月で45億円もの荒稼ぎをしていたと言われている。警察が、'99年の1年間に摘発したゲーム機賭博が108件、押収賭け金が1億6000万円であったのと比べてみれば、「カジノビジネス」の凄まじさがよく分かる。

問題なのは、こうした営業が違法に行われているという事実だけに尽きない。「最近とはくくに、その筋からの圧力が強く、ほとんどのアングラ店がそのカネツルになっている。カジノだけでしのいでいる組もあるくらいだ」（前出・カジノ経営者）

全国の主要都市にこうしたカジノがあることを考えると、実に莫大な額のカネが、闇社会に流れていることになるのだ。

③ラスベガスは治安が良い

もちろん、こうした現象をギャンブルの本質と見ることにについては、強力な反論がある。日本カジノ学会理事長でもある評論家の室伏哲郎氏は言う。「世界各国の64%以上がカジノを合法化しているように、ギャンブルは悪と決め付けるのではなくコントロールするのが趨勢（すうせい）。『飲む・打つ・買う』は人間の抑えがたい本能的な欲求であり、法的にコントロールできるかどうか、民族の賢愚を問う指標だ。'60年代後半まではマフィアの巢窟（そうくつ）だったラスベガスも、その後の徹底的な法の統制で同規模の地方都市より治安が良くなっている」

同氏によれば、イギリス議会はギャンブルについて、1950年から10年余りにわたって討論。「社会的に問題化しない限り大衆の楽しみを妨害してはならず、規制が必要ならばそれに代わるものを用意すべき。禁令で取り締まれば逆にそれをかいくぐろうとする不正を生む」としてカジノを含むゲーミングの法制化を選択し、結果として1200以上もあった違法カジノが姿を消した。

禁酒法時代のアメリカで、同法を最も強力に支持していたのが、モラルを前面に出した宗教グループと、密造酒という利権を握っていたギャングであったことは有名な話だ。何でも野放しは良くないが、禁止と解禁の長所・短所を見極めることなく「ダメなものダメ」で通しては、社会はかえってバランスを崩してしまうかもしれない。

無論、沖縄で言われているように、「基地とギャンブルの島」と化すリスクを取るかどうかは、その地の人々が地域の将来像について、互いにアイデアを競わせながら決める問題だ。それだけに、カジノ導入が有力な選択肢となるためには、不正やギャンブル中毒を予防し、癒すための、適切なコントロールが保証されなければならない。

実は日本におけるカジノ導入論にとって、最大の難点になりそうなのがこの問題だ。

何しろ、行政によって厳しく管理されているはずの公営競技が、カジノゲームの5倍に当たる25%ものテラ銭（胴元の利益）を取っているがために、暴力団に「1割落とし」（正規の1割引きで競馬などの賭けを受ける）などノミ行為の余地を与えるありさまなのだ。

カジノ解禁を支持するマーケティング・コンサルタントの西川りゅうじん氏は鋭くこう指摘する。「ギャンブルをゲーミングとしてコントロールするというのは、いわば日本がもうひとつオトナになるということ。ギャンブルが利権を握る官や政治の聖域と化している現状と決別し、オープンなものを目指さなければ、カジノを作っても成功はおぼつかない」

カジノ解禁論も、ひとつの構造改革案であることは間違いない、実現にはさまざまな利害の衝突が予想される。またもや「利権」「縦割り」「なくすじ」でことが進むのであれば、生じる弊害の深刻さは計り知れない――今回は迷走を繰り返した「行政とパチンコ」の教訓を踏まえつつ、日本活性化の突破口を探る。

News Web Japan 2001年10月31日
http://kodansha.cplaza.ne.jp/broadcast/special/2001_10_31_2/index.html

政・官の利権化阻止がカギ

カジノ構想については、「法制化は難しい」とする意見もあるが、そこは、文部省がサッカーくじ(http://mixi.jp/view_community.pl?id=2146288)を「スポーツ振興くじ」と名づけて売り出す国のこと。巨額の財政赤字の穴埋めをねらって、奇抜な大義名分が飛び出す余地は大いにある。しかし、それを待っているようでは、せっかくのカジノが官庁のヒモ付きになるのを認めるも同然。活性化の最終兵器が、単なる天下り役人の新たな棲家になりかねない。それでは、お上まかせでない「カジノのつくり方」はあるのだろうか。

①「既成事実化」ねらう動き

「現行法制下でもカジノをつくることはできる」最近、カジノ構想を推進するあるグループの中で、こんな声が出ている。カジノを「既成事実化」し、解禁に向けた突破口にしようというもので、以下の具体案が検討されている。

- （１）外国船籍の船にカジノを設け公海上で行う
- （２）治外法権を持つ在外公館の中
- （３）自治体が地域通貨を発行し利用する

実は、この3案に当てはまる例が、日本にはすでに存在していた。'96年3月に長崎―上海の定期航路に就航したパナマ船籍の客船では、ルーレットやバカラが楽しめた。もっともこれは、船会社が「船旅の楽しさを知って欲しい」という宣伝目的で始めたもので、賭け金も最低1ドルからと、いたってリーズナブル。ただ、この航路は成績不振のため、同年中に運休してしまった。

「外国公館案」について言えば、4年ほど前に「東京・港区にあるリベリア大使館で夜な夜なバカラ賭博が行われている」と報道されたことがある。親善協会の会合を装ったものだったが、警察や外務省が面白いはずもなく、国際条約上の「公館の不可侵権」に阻まれて手を出せないまま、歯ざしりして捜査・摘発を見送った。

これより1年前には、かの「イトマン事件」で知られる雅叙園(http://mixi.jp/view_community.pl?id=27341)観光ホテル（東京都目黒区）に「暴力団が偽のルワンダ大使館を開設してバカラ賭博を行っている」との情報も流れた。

巷にはびこる違法カジノも真っ青の法の網くぐりだが、「既成事実化」を論議している当のグループ内にも、「ギャンブルを法でコントロールして健全な娯楽にしようというのがカジノ構想の要。法の隙間でコソコソしては、いかがわしい印象を持たれて支持を失うだけだ」との声がある。

では、「地域通貨(http://mixi.jp/view_community.pl?id=97709)案」はどうか。さすがにピタリと一致する前例は見当たらないが、良く似たものが身近にある。全国約1万7000店舗、参加人口約2000万人というパチンコがそれだ。

パチンコ店で客が勝った玉を現金や有価証券に交換することは、風営法で禁止されている。だから、客はいったんライター石などの特殊景品に取り替え、それを店外にある景品買い取り所で換金する。パチンコ店と景品買い取り所を別個の経営主体にすることで、風営法をすり抜けているのだ。

カジノで地域通貨を利用するというアイデアも、ゲームで使うチップと現金の間に「擬似マネー」を介在させるという意味で、発想はパチンコと同じだ。地域通貨の発行元を自治体とすることで、信用を確保しようという点も、警察のお目こぼしで成り立っているパチンコの換金システムと、ある種共通するところがある。

②ねらわれたパチンコ業界

気をつけねばならないのは、法の網をすり抜ければ、その保護からも漏れかねず、悪意ある介入を招く危険性が高いということだ。

パチンコでも、景品買い取り所の経営に暴力団が関与するなどの問題があったが、それに劣らず業界を苦しめたのは、なんと監督官庁たる警察からの利権がらみの介入だった。

とくに深刻だったのは、「業界の健全化」を大義名分に警察庁が主導したプリペイドカード事業だ。「パチンコ店の経理をガラス張りにして脱税を防ぐ」などと意義が強調されていたが、警察OBの共済組織「たいよう共済」がカード会社の大株主になっていたことで、「パチンコマネーのぶんに取り過ぎない」と批判された。

また、プリペイドカードシステムに対するパチンコ店の需要を喚起しようと、警察庁が普及を後押ししたCR機（カード対応機）は、一般機に比べ連チャン性を強めてあったために一部の人を「パチンコ中毒」へと誘い、主婦が炎天下の駐車場に幼い子供を乗せた車を放置して死に至らしめるというような社会的悲劇も惹き起こした。'90年代中ごろには、変造カードの使用が横行して1000億円ものカネが闇の勢力に流れるという事態も重なってパチンコ業界のイメージは深く傷つき、遊戯人口減少の一因になった。

最近では、カジノへの関心が高まるにつれ、業界団体上層から「この際、パチンコの換金も見直そう」という趣旨の発言が目立ってきた。これも「背景には警察庁の意向がありそうだ」と、パチンコ業界に詳しい日韓経済研究センターの間部洋一氏は指摘する。

「彼らが言うのは、景品買い取り業務を第三者機関に委託して透明度を高めようというものです。それが警察の道具になるのは目に見えています。パチンコ店経営者として透明度アップには賛成でしょうが、警察の介入には抵抗がある。以前、警察官僚の口から『パチンコを準公営化したい』との言葉を聞いたことがありますが、何もかも当局がコントロールするパチンコが、果たして面白いものになるでしょうか」

単にコントロールの強さという点で言えば、ラスベガスがある米国ネバダ州の方が上かもしれない。1931年にゲーミングを全面解禁して以来、州当局は厳格なライセンス制の導入などの施策を重ねてきた。明確なカジノ運営規定を制定し、それを守らせるためには、時には第三者管理機構がオトリ捜査まで行う徹底ぶりだが、こちらの介入の目的はあくまでも、カジノを産業として確立することにあった。

都市開発問題の専門家で、ラスベガスに関する著作もある井崎義治氏は、日本におけるカジノ合法化の障壁について、次のように説明する。

「官僚は自分の裁量権を確保するために明確な法規の制定を避けるでしょう。誰が読んでも分かる明確なルールがなければ、透明な経営や公正な市場競争原理は機能しない。それでは、国際競争力のある魅力的なカジノは望めません」

パチンコのように、監督官庁が利権を求めて介入するようなことになれば、カジノによって本来得られるはずの経済効果すらしばきかねないということだ。

③理想をマジメにうたてえる

そればかりか、住民が新たな負担を背負い込む可能性すらある。ニューヨーク在住のジャーナリスト、吉田朱見氏によると、東海岸のアトランティックシティでは、必要以上に権力を持ったカジノ関連の第三者機関が、開発の名の下に私有地の強制立ち退きを次々と行った。

「この機関との癒着が発覚して3人の市長が監獄行きを宣告されています。この地のカジノ産業は経済的には成功していますが、陰の部分があるのも事実です」

日本のカジノ構想にも、キナ臭い話はある。前出の井崎氏は、「特定の政治家や企業のあやしい動きについて噂を聞くことがある」と言う。名前が挙がっているのは、警察OBの政治家にゼネコン、大手広告代理店などだ。

こうした動きに神経を尖らせているのが、地域活性化の理念を掲げて運動を積み重ねてきた地方の推進派グループだ。石原慎太郎都知事は「お台場カジノ」について、「都がオーナーシップを持つのが望ましい」と言っているが、他の地方では民営構想が強い。

秋田県では、20代の若者のグループが、空港のある雄和町にカジノを中心としたゲーミング地帯を建設する構想を掲げ、5年半前から活動してきた。当初は珍しがられるのがせいぜいだったが、最近では、商工会議所などからも講演依頼がある。10月4日にはメンバーに雄和町長や財界人も加え、「イーストベガス(http://mixi.jp/view_community.pl?id=2803283)推進協議会」を新たに立ち上げた。

代表の長谷川敦氏（会社社長）は話す。「リゾート建設で失敗した第3セクターの惨状を見れば、活性化のために必要なのはハードではなく、魅力創造のソフトであるのは明らか。ゲーミングかくあるべきという理想を真面目に訴えてこまぞ来たんです。本音と建前を分けて語ることしかできず、利権にまみれた政治家や天下り役人に出る幕はありません」

公営競技やパチンコにおける行政の「前科」や、海外から観光客を集めるカジノの国際競争力を考えれば、こうした主張には一理ある。しかし、本格的なゲーミング法制化のためには、政治とのコンタクトが不可欠であることは言うまでもない。

そういった過程を経る中で、ゲーミング本来の魅力をどう保ち、明確で公正なルールをどう作るか――この辺の課題を乗り越えてこそ、カジノ解禁の明日は見えてくる。「活性化の最終兵器」は、やはり日本社会の構造改革なくしては、手に入らないものなのである。

く私は、普段気楽にJALのマイレージや家電量販店のポイントを貯めています。しかしこのポイントは、実は、ものすごい破壊力と可能性を秘めています。ポイントという可愛らしく聞こえますが、実際には2005年の時点で、4500億円、しかし実は10兆円を超えて発行されていると予測されます。

私が貯めているポイントカードは、実は立派な企業通貨です。>

く今後、母体の信用をベースに発行されたマイレージやポイントが、流通され、他のポイントとくっつく(ベックされる)ことによって、独自の企業通貨経済圏が出来てくると思います。

企業は、国に縛られず、世界中に展開することができるので、そのうち国が発行する通貨よりも強い企業通貨が現われるかもしれません。

実際、アフリカの国が発行する通貨よりも、トヨタとウォルマートが共同して発行するお金の方が信用力が強いかもしれません。

企業通貨は大きな可能性を秘めているといえそうです。

まったく同感だし、ポイント事業を推進している企業側も、当然こう考えているはずだ。

そしてこの話は、情報技術における「プラットフォーム」争奪戦と切っても切れない関係にあると思う。私は以前、「最有力のIT・ネット企業6社「GAMANA(ガマナ)」がしのぎを削るプラットフォーム争奪戦」というエントリで次のように書いた。

く「GAMANA」のプラットフォーム争奪戦は、OSやブラウザ、ライブラリ、技術標準といったテクノロジーを超えて、決済システムやポイントなどの金融、「通貨」まで巻き込んだ競争になる。そこではコンテンツや「カネ」が飛び交うことになるので、これをどう扱うかは、国の命運すら左右してもおかしくない。その激しい進化がもたらす恩恵を受けるには、知的財産権や金融などの規制をどんどん見直すような勇気とスピード感が必要だろう。

ここで挙げた「GAMANA」(Google、Apple、Microsoft、Amazon、Nokia、Adobe)のような会社が情報技術のプラットフォームをつかもうとするのは、さまざまなコンテンツやアプリケーションがその上に立つ「基盤」をつかんでしまえば、「開元」として手数料をピンハネしたり、その「基盤」をどうするかという意思決定を通じて、自社が有利な状況に持っていきやすいからだ。

そしてこうしたプラットフォームの上では、すべてが無料ではビジネスにならないので、必ず「決済」プロセス、つまりカネのやりとりが発生する。よって、情報技術のプラットフォームをとりまく「GAMANA」のような会社は、必ず「決済」について考えている。つまり、情報技術のみならず、「金融」や「通貨」のレベルでも一定の「権力」を狙っているはずだ。

すでに、ツバルのような小国が自国のドメインをまるごと売る、といった例があるが、今後は例えば、そうした小国がGoogleのような企業と組んで、国の通貨や金融システムをまるごとその企業にアウトソースする、といったこともありうるかもしれない。そうなれば、小国であることがハンディやデメリットではなく、国の仕組みをスピーディにどんどん変えていけることがむしろ強み・メリットになるかもしれない。

ネットはすでに国境を越えているが、通貨や法はまだ国に縛られている。情報技術のプラットフォーム上で有償のコンテンツやサービスを増やし、決済をやろうと思えば、必ず通貨や法が問題になってくる。つまり情報技術のプラットフォームと、金融や通貨は「地続き」なのだ。もし仮に、Googleのような企業が小国と組んで、その通貨や法を動かせるようになれば、その小国のイノベーションはきわめて速くなり、情報技術を中心とした人や企業を世界じゅうから引きつけるかもしれない。今後の世界では、情報技術の比重・重要性がますます高まっていくことは間違いないから、そうなれば、世界の中でのその小国の存在感も高まっていくことは間違いない。

「GAMANA」のような企業が情報技術のプラットフォーム争奪戦をおこなっているのとまったく同じように、今後は世界じゅうの国どうしが、通貨や法という「プラットフォーム」をより魅力的なものにして、人や企業を呼び込むという競争が起きるだろう。シンガポールや香港などはすでに、完全にこの視点で動いているように思う。日本はその反対に、人や企業をわざと逃がそうとしているようにしか見えない。

ポイントというものを「企業通貨」として考える場合、その通貨の価値や競争力は、それが結びつく情報技術のプラットフォームや、それが存在する国の仕組み・あり方と連動してくるだろう。この視点で見ると、日本は情報技術のプラットフォームでもまったくプレゼンスがないし(「GAMANA」には日本企業が入っていない)、国の仕組み・あり方という点でも、規制と既得権益でがんじがらめになっていて変化が遅い上に、経済成長も見込めず、将来性が感じられない。これでは、いくら日本のなかでそれなりに有力な「通貨」であっても、世界には通用しない、まさに「地域通貨」に留まるだろう。

日本列島オランダ化計画宣言！

誰もが理想と思えるようなライフスタイルと出会いたい！

そんな命題をにかけて、地球上に点在するさまざまなコミュニティを巡る旅が続けてきた。

自然と共に生きる決意を固めた若者たちがアラスカの森に作った集落。筋金入りのトラベラー達がインドのビーチ・タウンにつくった理想郷。反グローバリゼーションを旗印に活動続けるメキシコの民族解放軍の自治区。民族や人種の壁を超え、ある共通のヴィジョンをもとに結びついた人々が肩を寄せあうように暮らす小さなコミュニティ。国家という枠組みを超えているようにも思えるけれど、とても健全に思えた。

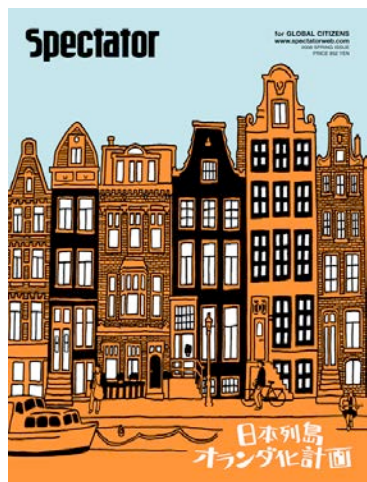
あんな場所が日本にもあったらいいのにと、旅から日常へと戻るときに考える一方で、それは土台無理な話だと諦めている自分がいたのも事実だ。きわだった個性や差異が受け入れられにくい日本の社会に、本当の意味でのオルタナティブな空間を作るのは容易なことじゃないし、いっそどこかへエスケープしてしまうほうが簡単だと思っていたからだ。日々の暮らしを窮屈にしている政治と呼ばれるものに関心を寄せられなかったのも、そんな想いがあったからかも知れない。けれども、たとえどこかに移住したいとしても、いつかはその国のルールや政治とも関わりを持たなければいけない時が必ずくる。ましてや本気で理想の王国を作ろうとするなら向き合わずにはいられないのが政治というものなのだろう。

そんな考えが頭の中を巡っていたある日、オランダを訪れるチャンスにめぐまれた。鎖国時代の日本にヨーロッパ文化をもたらした、風車と運河とチューリップで有名な国。そんな多くの人が抱くのと同等程度の印象だけをもって、何の気なしに足を向けたオランダは、「自由」と「寛容」の精神に溢れた魅力的な国だった。

オランダは世界で唯一マリファナの売買が公然と認められている国なのは有名だ。労働に対する意識も寛容なこの国では、週休三日の就業パターンも珍しくないそう。また、自転車専用道路が全国に整備され、通勤や通学など日常の移動は全て自転車でコトが足りるように国全体がデザインされているという。あたかも自分たちの理想や願望のもとにデザインされたかのごとくユニークな制度を目の当たりにして、今まで抱いてきた政治に対するイメージが変わった。政治とは人の暮らしをコントロールするものと思っていたけど、その逆にもなりえるということを思い知らされた気がしたのだ。

オランダは、何故あんなにユニークな制度が存在するのだろうか？まずは、その理由を知りたいと思った。そして同時に、ある空想が頭に浮かんだ。オランダ流のシステムや考え方を日本に取り入れることはできないだろうか？歴史もサイズも異なる他の国のシステムを取り入れるなんて簡単にできないのは百も承知だ。ならば、目標を達成する時期を二、三十年後に設定してみたらどうだろう。それまで国の政治を動かしていた連中が去り、新しい世代が社会の主役になるころまでには、日本をより良い国に作り変えることも可能なんじゃないか。想像してみてほしい。週に三日の休日、自転車に乗って近所のコーヒーショップまで・・・なんて日々が送れたら最高じゃないか。そんな空想遊びを「日本列島オランダ化計画」と名づけ、三十年後の日本の姿をリアルにイメージするために僕は再びオランダへと旅立った。

これまで長く続いたルールや習慣を変えていくのは難しい。ましてや国民の意識を変えようとするならば、その苦勞は並じゃない。ただと変えようとする意志がなければ何も変わらない。意志を育めるかどうかは自分たちにとって理想の未来をどれだけリアルに想像できるかにかかっている。世界に先駆けて理想の未来を手に入れた小さな国にまつわるレポートを、みんなの想像力の足しにしてもらえたら嬉しい。



地域通貨しス アメリカ(グローバル)バブル経済崩壊し331 http://yuzuru.2ch.net/test/read.cgi/eco/1305552324/	橋下さんが言い出して、関西広域連合で信認すればいいだ け	同じ理屈で、別に円じゃなくてもカードで仕入れできるで しょ	697：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:27:12.96 6 9 3 考え違いをしている 西日本は栄華をこれから築くが、東京を含めた東日本に得 来性は・・・。
633：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/22(日) 20:04:56.85 拙出してみた	今すぐ出来るよ	666：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 00:04:48.74 >>664 コメリのアグリカードって何？	698：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:27:15.51 >>696 円の価値は下がらない だってデフレだもの みつお
>>587 353 名前：名刺は切らしておまして [sage]：2011/05/21(土) 17:24:47.43 ID:M6KHITU5 経済板スレで見んだけど、西日本は水面下で 独立に向けて動き出しているらしいね 日銀も見捨てて、独自の中央銀行作るんだろう 今の東京と一緒に沈没するのはカンベンって気持ち こっちに住んでいてもよくわかる 日銀さえ言う事聞かせりゃいいだけののに それさえ出来無い無能政府は存在価値ないよ 谷垣じゃ政権交代しても希望してないしね	637：633：2011/05/22(日) 20:51:07.73 457 名前：名刺は切らしておまして []：2011/05/22(日) 19:59:09.55 ID:7CaDyyn 技術のある日本がハイパーになる事ねえだろwww 谷底に突き落としても勝手に這い上がってくるわwww もう官僚 V S 国民で紛争起こしても問題ないレベルwww 官僚どもはそうとう国民を食い物にしているなwww 自民 V S 民主という構図を作り上げて！	673：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 00:16:23.29 消費税が1 0 %になったら、俺も物々交換で生活する方法 を考えよってw 1 0 %も払ったらバカじゃんw	699：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:31:27.68 いい加減、既得権益や官僚や、日銀にあききだからな これは、東京に全て富を吸い上げられている西日本の総意 もはや我慢の限界に来ているんだろうな
354 名前：名刺は切らしておまして [sage]：2011/05/21(土) 17:31:36.34 ID:Mg7mW9I3 (3) >>353 通貨の信任をどうやって確保するつもりなんだかw	458 名前：名刺は切らしておまして [sage]：2011/05/22(日) 20:07:28.58 ID:EHpKNgVp >>457 ホンマそうやわ	680：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 01:09:19.50 >>679 将来はメタハイになるんじゃないの それまでは円も石油も両建てでしょ	アメリカも分裂するだろうし、中国も分かん 世界的流れだ
362 名前：名刺は切らしておまして []：2011/05/21(土) 18:53:01.39 ID:2st+yah6 (12) >>354 通貨の信任wって何？	458 名前：名刺は切らしておまして [sage]：2011/05/22(日) 20:07:28.58 ID:EHpKNgVp >>457 ホンマそうやわ	686：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 01:43:26.19 >>683 で、円の今後の動向はどんな感じなんw？	700：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:34:04.43 大和国は真の独立国 日本は落ち目のタメリカ奴隷国
366 名前：名刺は切らしておまして [sage]：2011/05/21(土) 19:24:21.70 ID:Mg7mW9I3 (3) >>362 通貨はみんながその価値があると思ってるからなりたっ ているわけ 独自の中央銀行を作るって事は関西地区は流通通貨を新し い通貨に移行するわけだから 当然新しい通貨はその価値があると思わせられるように しなければ成らない 日本国にありながら円の流通を停止させるだけの信用をど うやって得るんだかw	640：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/22(日) 21:10:40.53 地域通貨は減免特典付きの納税通貨にすれば皆欲しがると 思うお(´・ω・｀)	687：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 01:53:02.03 地域通貨なんてネタだと思ってググったら 実際に発行されて使われてるとこ多いのな Google ニュースでさえ、いっぱい出てきてビビッたぞ http://p.tl/iSgh	701：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:36:28.93 >>699 ツイッターでも関西独立議論が急に増えてきたね この勢いは止まらないだろうな
634：633：2011/05/22(日) 20:07:19.26 369 名前：名刺は切らしておまして []：2011/05/21(土) 19:27:06.00 ID:2st+yah6 >>366 法律作ればいいだけだろw	641：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/22(日) 21:26:50.04 >>640 円との流通量が逆転すればそれも可能だね でも法律通さなければいけないから、すぐにはできないよ ね	688：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 01:55:53.78 見えたで 西日本通貨は天と言う通貨になる 当初、1円＝1天だったんが 1 0年後、1円＝0. 0 1天になる というお告げや	http://twitter.com/#!/fzr21/status/723209873157120000 関西から地方分権の端緒を！
370 名前：名刺は切らしておまして [sage]：2011/05/21(土) 19:30:34.50 ID:Mg7mW9I3 >>369 円の流通を止めるなんて条例できるレベルなのか？w 国会で法律を通せない限り無理だし 普通の国家はそんな法律を通す事はないえ	648：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/22(日) 23:12:18.30 >>635-636 その考え面白いな 別に橋下知事じゃなくても、市町レベルでも出来るんじゃない の 過疎って人が少なくなってる市や町なら、地域通貨で給料 は3倍 でも税金はもとのまま 過疎ってる市や町単体だけなら買うものなくて使い道がない だろうけど 過疎ってる市や町が広域連携して導入すれば、家ぐらいなら 木造で建てられるから、地域通貨を積み立てていけば立派 な家が 1 0年ぐらいで建てられるんじゃないか	689：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 01:56:09.44 >>686 西日本通貨にこれから駆逐される通貨の 動向気にしても意味ないだろw	RT @elm200 関西広域連合で霞ヶ関に対して反乱を起こして、 国税の徴税権とか奪ってしまえばいいのに。 新しい日系独立国家として、やりたい放題やってほしい な。 霞ヶ関には明治政府がほとんどそのまま残っている。 これを撃破しないことには日本は変わりようがない
378 名前：名刺は切らしておまして [sage]：2011/05/21(土) 20:06:39.63 ID:ruh16Bqm >>370 地域通貨でやればいいだけでしょ 今でも地域通貨は円とともに流通してるわけだし 西日本の各自治体が共通の地域通貨を条例で信認すればいい だけ 別にあえて円をすぐ排除する必要はないよ 今すぐできるし法律的にも何も問題ない	649：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/22(日) 23:17:03.64 西日本でベーシックインカムとしてばら撒けば、あつという 間に普及するよ 西日本は独立を目指せ もう馬鹿な国賊官僚や日銀をあてにするな	690：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:00:27.97 >>689 日本の通貨がどう基軸通貨に絡んでいくかを考えないとダ メだろw 地域通貨を作っても、基軸通貨にならないんじゃない意味ない だろ j k	702：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:52:06.84 >>701 関西以外に住んでる人にはわからないと思うけど 東日本大震災で関西広域連合の手際の良い仕事ぶりを ニュースや知人、友人から直接見聞きしてるから それと比べて東京のグダグダぶりをテレビやネットで 見せつけられると、もういい加減にしてくれと思わずツッ コミが入る そして東京の仕事ぶりと、関西広域連合の仕事ぶり無意識 のうちに 比較して、入れ替わったほうがいいやん、って実感してる 人多い
379 名前：名刺は切らしておまして []：2011/05/21(土) 20:17:39.93 ID:2st+yah6 地域通貨なんか意味ないだろ	651：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/22(日) 23:34:45.07 >>649 そうだよ 別にベーシックインカムが円でないと ダメってことは無かったんだよ 本当に目からウロコ クーポンでもいいんだよ、物々交換の仲介さえ出来れば	691：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:07:51.92 またまた見えたで、西日本独立国の姿が 国名：大和 国旗：高知のダルマ太陽をモチーフ 国歌：さくら 通貨：天 後の基軸通貨である	実際に、関西広域連合の素早い問題解決能力見てしまうと 東京いらんやん、独立してまえ、そんだけの力を関西持つ てる と、みんな感じてる始めてるんじゃないか 東日本大震災で九州や中部からそれほど独立みたいないな 極端な議論が起きてこないのはそのためだと思ふ
380 名前：名刺は切らしておまして [sage]：2011/05/21(土) 20:40:08.49 ID:TQuX1S8g みんなが使ってくれば地域通貨も意味があるんだ が・・・ 発行したとしても使われるのかな？	654：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/22(日) 23:48:02.54 >>652 そうか、その手があったか 地域通貨での月々返済可能なクレジットカード会社作れば 急成長する気がする 今から勉強して、地域通貨のクレジット会社のデファクト 押さえよう なんか無茶苦茶やる気出てきたw	692：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:11:13.26 >>690 基軸通貨じゃなくていいでしょ あくまでも地域通貨なんだから 間で台湾で流通しても、域外のことは知らないですませ られる デフレ通貨の円とリンクすることで、力を発揮する インフレ地域通貨 刷れれば刷るだけ無限に無から価値を生み出せる なぜなら日銀がデフレやってくれているから	703：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 03:06:23.18 >>702 関東、関西以外に住んでるけど、トンキンを相手にしない 事でストレスはありませんが何か？ 独立とかしないでもいいから、トンキン番組流すのヤメレw
635：633：2011/05/22(日) 20:31:17.22	654：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/22(日) 23:48:02.54 >>652 そうか、その手があったか 地域通貨での月々返済可能なクレジットカード会社作れば 急成長する気がする 今から勉強して、地域通貨のクレジット会社のデファクト 押さえよう なんか無茶苦茶やる気出てきたw	693：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:21:02.87 「独立」ねえ・・・w	704：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 04:00:23.92 敵は数百年続いた律令制度。
381 名前：名刺は切らしておまして [sage]：2011/05/21(土) 20:47:31.37 ID:ruh16Bqm (3) >>379 地域通貨の発行量を増やして、一ヶ所で連番管理してやっ て 利子を無くして信用金庫に管理させてやって その費用は地域通貨発行して信用金庫に渡せばいいだけ 共通地域通貨発行している地域に本社もってる会社には、 最初のうちは、給料の倍額の地域通貨を会社にも正社員にも ただでばらまけばいい もちろん派遣使ってることは対象外ね	654：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/22(日) 23:48:02.54 >>652 そうか、その手があったか 地域通貨での月々返済可能なクレジットカード会社作れば 急成長する気がする 今から勉強して、地域通貨のクレジット会社のデファクト 押さえよう なんか無茶苦茶やる気出てきたw	694：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:22:25.90 >>692 それって間の基軸通貨になりえるんじゃない 廣利率の高い元や、いつ暴落するかわからなドルより 海外で資産としてマジで人気でそんな気がする	そして150年続いた「官」。
あとは、金券ショップで自由に取引させてやったり 駅前地域通貨交換自販機を西日本の駅に徐々ににおいてい けばいい もちろんコンビニにもね	654：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/22(日) 23:56:21.81 地域通貨の利点ってなによ？ 仕入れは円じゃないと相手にしてもらえないぜ 地域通貨をわざわざ両替するくらいなら、最初から円の方 が便利じゃん ナマポにフードクーポン発行するってのなら賛成けど	695：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:25:07.52 >>693 対外的に独立してなくていいんだよ 対内的に事実上独立と同じ自治権さえ持っておけばいいだ け 中国の中の香港みたいな感じ	敗戦でも占領軍の統治の先兵として生き残ったが、 ついに命脈が尽きる時がきた。
何時でも今すぐにも出来るよ 橋下さんならね	661：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/22(日) 23:57:38.64 西日本では円はもうマイナーになるんだよ	696：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 02:25:41.18 >>692 円の価値が下がるわ、地域通貨を使ってもらえないわとい うことで却下w	犠牲者に報いるには、もう一度、生まれ代わって来たい国 にすること。 被災者に報いるには、希望の持てる国にすること。
636：633：2011/05/22(日) 20:42:50.07	662：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/22(日) 23:58:29.68 >>654 それって、いくら地域通貨稼いでても円は稼がないなら 基本、ずっと赤字の垂れ流しでしょ 合法的に、税金払わなくていいんじゃないの 地域通貨の億万長者が確実じゃん おしいすぎるやろ		原券問題でようやく真の敵があぶりだされた。
386 名前：名刺は切らしておまして [sage]：2011/05/21(土) 21:02:23.05 ID:ruh16Bqm >>381 もちろん、ただで地域通貨をもらう事業所は 地域通貨の受け取り拒否したら 次の月から需給資格の永久停止ね 責任者はブラックリスト行き	664：金持ち名無しさん、貧乏名無しさん：2011/05/23(月) 00:02:11.02 >>660 r 地域通貨じゃないけど、コメリのアグリカードで 農家は仕入れしてるところが最近けっこう増えてきてるよ		金や利権の為に他人を犠牲者にする「鬼眼」と そんな世界はもう終わりにして、新しい世界を築こうとす る人々との戦いだ。
そして、域内での円と地域通貨の流通量が逆転したら 通貨管理政策をやってやればいいだけ			「世界を救う。 それが自分の運命だと信じて」
金券と同じだから簡単なんだよ			
要は、共通管理してやるのと、大量にばらまけばいいだけ だから			



<http://www.clubpyramid.jp/>